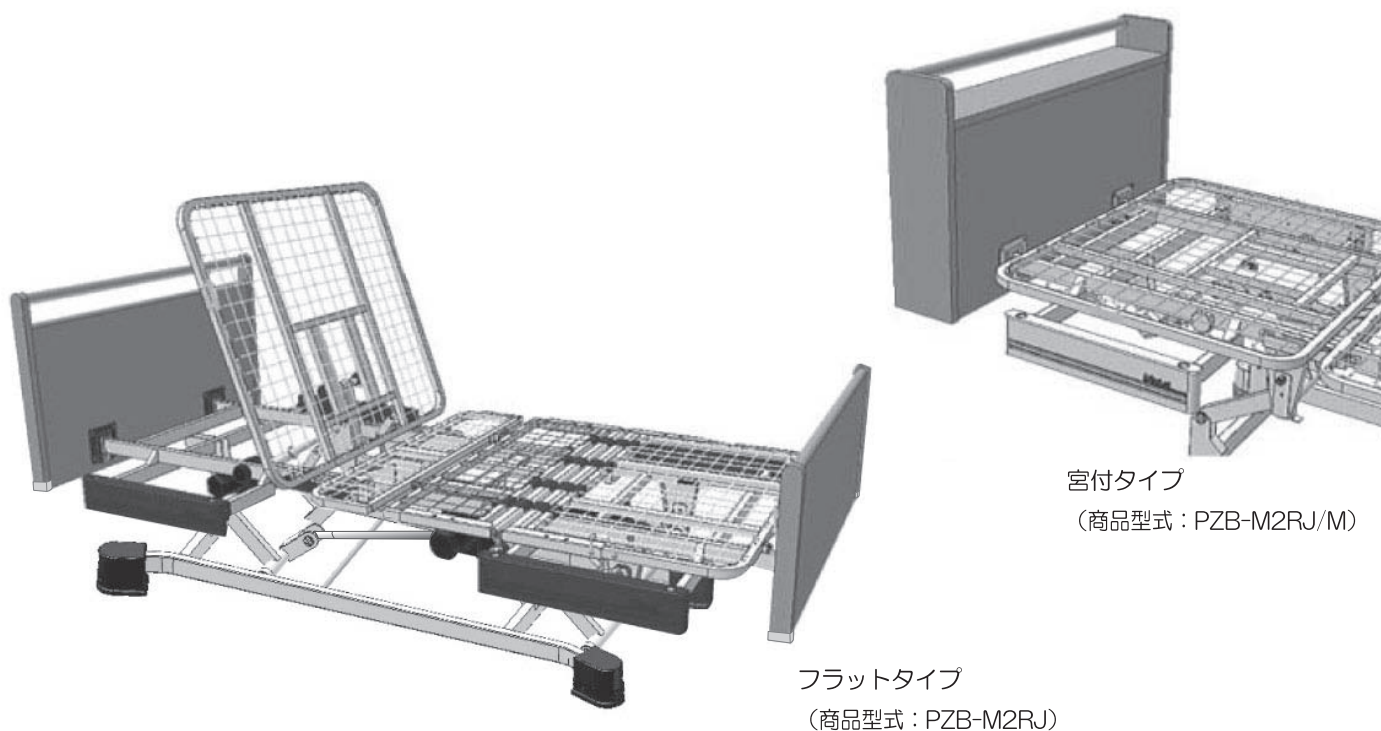


介護保険レンタル対応 在宅介護用ベッド

- (背上げ1モーターベッド) PZB-M1RJB,M1RJB/M,PZB-M1SJB(ショートタイプ),
PZB-M1RJB-HH,M1RJB/M-MH,PZB-M1SJB-HH(ショートタイプ)
- (昇降1モーターベッド) PZB-M1RJH,M1RJH/M,PZB-M1SJH(ショートタイプ),
PZB-M1RJH-HH,M1RJH/M-MH,PZB-M1SJH-HH(ショートタイプ)
- (2モーターベッド) PZB-M2RJ,M2RJ/M,PZB-M2SJ(ショートタイプ),
PZB-M2RJ-HH,M2RJ/M-MH,PZB-M2SJ-HH(ショートタイプ)
- (3モーターベッド) PZB-M3RJ,M3RJ/M,PZB-M3SJ(ショートタイプ),
PZB-M3RJ-HH,M3RJ/M-MH,PZB-M3SJ-HH(ショートタイプ)



この度は、介護保険レンタル対応 在宅介護用ベッド「ミオレット」をお買上げいただき、誠にありがとうございます。

この「取扱説明書」は、組立て及びご使用の前に必ずお読みいただき、正しくご使用いただきますようお願い致します。

- 介護が必要な方がお使いになる場合は、介護する方もこの取扱説明書を必ずお読み下さい。
- この取扱説明書はお読みになった後も大切に保管し、いつでも確認できるようにして下さい。
- 製品を他の人に譲渡される場合は、この取扱説明書も一緒にお渡し下さい。
- ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店、または弊社までお問い合わせ下さい。

もくじ

	ページ
○安全にご使用いただくために（ご使用前の警告と注意）	2
○安全にご使用いただくために（ご使用上の警告と注意）	3～5
○リフトご使用時の注意	5
○停電時の注意	5
○ベッドの設置について	6
○開梱と部品の確認	7～9
○各部の名称	10
[ベッドの組み立て方] ・ ベースフレームとセンターフレームの組み立て	11～13
・ ヘッドフレームの取り付け	14～15
[背上げ、ひざ上げ用モーターの取り付け]	
・ 3モーターのコード取付け	16～17
・ 2モーターのコード取付け	18
・ 背上げ1モーターのコード取付け	19
○フットフレームの取り付け	20
○ひざ、脚ボトム取り付け	20
○背ボトム取り付け	21
○ヘッド、フットボードの取り付け	21
○電源コードの取り回し	22
○マットレスストッパーの取り付け	22
○背上げのみ⇄背ひざ連動の切り替え方法	23
○手元スイッチの使い方	24～25
○ライジングモーションについて	26
○フィッティングバーの設定	27
○ベッドの分解方法	28～32
○移動について	33
○お手入れについて	33
○故障について	33
○保証とアフターサービス	34
[モーターの変更] ・ 1モーターから2モーターへ	35
・ 1モーターから3モーターへ	36
・ 2モーターから3モーターへ	37
・ 3モーターから2モーター、1モーターへ	38
[商品の仕様]	
(PZB-M1RJB, PZB-M1RJB/M, PZB-M1SJB, PZB-M1RJB-HH, PZB-M1RJB/M-MH, PZB-M1SJB-HH)	39
(PZB-M1RJH, PZB-M1RJH/M, PZB-M1SJH, PZB-M1RJH-HH, PZB-M1RJH/M-MH, PZB-M1SJH-HH)	40
(PZB-M2RJ, PZB-M2RJ/M, PZB-M2SJ, PZB-M2RJ-HH, PZB-M2RJ/M-MH, PZB-M2SJ-HH)	41
(PZB-M3RJ, PZB-M3RJ/M, PZB-M3SJ, PZB-M3RJ-HH, PZB-M3RJ/M-MH, PZB-M3SJ-HH)	42
○適合周辺機器	43
○パーツ型式一覧表	44
○レール類の組み合わせ	45
○停電時の背下げ操作方法	46

使用目的

- ミオレットは、ご家庭での介護を行うことを目的として作られたベッドです。

商品の特徴

- 1つのボタン操作でライジングモーションとバックオフ機能の実現
(PZB-M2(R・S)Jシリーズ・M1(R・S)JBシリーズのみ)
- 利用者に合わせた脚部のフィッティングが可能(PZB-M1(R・S)JHシリーズは除く)
- 低床 25 cmから 59 cmの床面高さ(PZB-M1(R・S)JBシリーズは組み立て時に 29/32.5/36/39.5 cmに高さ調節が可能)

安全にご使用いただくために（必ずお守り下さい）

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、ご利用者や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、色々な絵表示をしております。下記をよくお読み頂き、内容をよく理解してから正しくお使い下さい。



警告

この表示の欄は、生命に関わる怪我、または重傷を負う可能性が想定される内容を記載しています。



注意

この表示の欄は、傷害を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容をしめしています。

■絵表示の例



禁止

この記号は、
してはいけない
「禁止」の内容です。



この記号は、
気をつけて頂きたい
「注意喚起」の内容です。



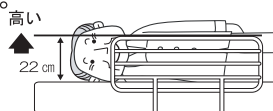
ご使用前の警告と注意



禁止

体位変換（寝返り等）の際に転落の危険性がありますので、マット面からレールの上まで22 cm以上を確保して下さい。マットレスは、P43「適合周辺機器」で詳細をご確認下さい。

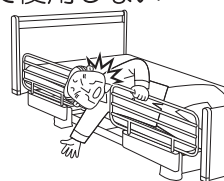
- ・ 不適合機器を使用されますと怪我や事故の原因になります。



禁止

他社製のサイドレール、ベッド用グリップや、この取扱説明書で指定した周辺機器以外の組み合わせで使用しないで下さい。

- ・ 危険な隙間が発生し、腕や首、頭を挟むなど重大事故の原因になります。



禁止

洪水や火災などで被災したベッドは電源プラグを抜き、使用前に販売店に点検を依頼して下さい。

- ・ 電気部品のショートによる火災の原因となります。
- ・ 破損部品があると思わぬ怪我をする恐れがあります。



禁止

このベッドは非防水です。屋外では使用できません。

- ・ 火災、感電の原因になります。
- ・ 尿など水分がモーター、手元スイッチにかかった場合は、電源プラグを抜き使用せず、販売店にご相談下さい。



禁止

キャスターを付けた場合、ロックを解除した状態で放置しないで下さい。掃除の際など移動した後は必ずロックして下さい。

- ・ ベッドからの乗り降りの際、ベッドが移動し転倒の危険性があります。
- ・ ベッドが壁にぶつかり破損することがあります。



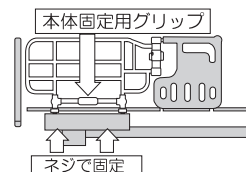
キャスターは必ず固定



禁止

ベッド用グリップ（PZR-116J、PZR-AT116J）を使用される場合、本体固定用グリップとベッド下からのネジでしっかりと固定されているか定期的に確認して下さい。

- ・ 転倒し怪我や骨折を起こす恐れがあります。
- ・ ネジが取れて無くなった場合、販売店にお問合せ下さい。



本体固定用グリップ

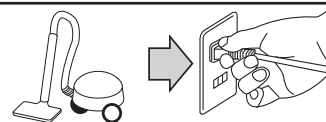
ネジで固定



禁止

掃除・点検などでベッド下に入る場合は必ず電源プラグを抜いて下さい。

- ・ 誤操作によりベッドに挟まれ重傷事故の恐れがあります。



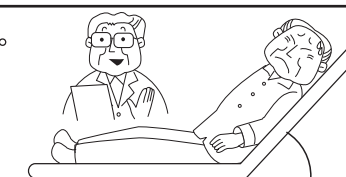
ご使用になられる前に、各部のビス・ボルトが完全に固定されているか、ご確認ください。

- ビス・ボルトがゆるんでいると、ご使用中にパーツが外れたりすること考えられ事故の原因になります。



治療中の方やペースメーカーご使用の方は医師に相談して下さい。

- ・ ベッドの操作が、症状を悪化させる可能性があります。
- ・ 医師、看護師の指導に従って下さい。
- ・ 背脚の角度によっては床ずれなどの症状を悪化させる事があります。



⚠ ご使用上の警告



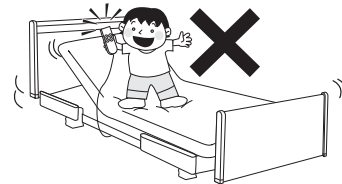
禁止

ご自身での操作が困難な方がベッドを使われる場合、付添いの方がベッド操作をして下さい。怪我、事故の原因となります。
 ・ご家族に小さなお子様がいる場合、ベッドを使用しない場合は電源プラグを抜いて下さい。ベッドで遊んで事故や怪我を起こす恐れがあります。



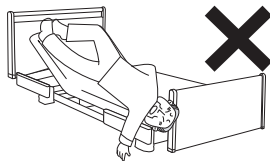
禁止

ベッドに立った状態で手元スイッチの操作をしないで下さい。
 ・転倒などにより怪我や事故の原因になります。



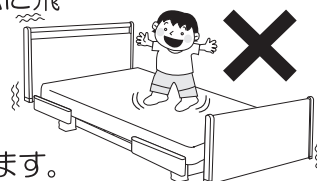
禁止

ベッドにうつ伏せで寝た状態や頭脚逆方向で寝た状態での使用はしないで下さい。
 ・背骨を痛めるなど怪我や事故の原因になります。



禁止

背や脚ボトムを上げた状態で、「ボトムの上に座る」「ボトムの上で飛び跳ねる」「ボトムに飛び乗る」などの行為は絶対にしないで下さい。
 ・怪我や事故の原因になります。



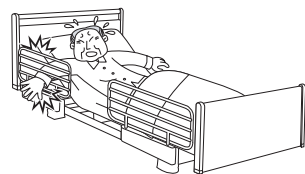
禁止

モーターの長時間連続使用（5分以上）はしないで下さい。
 ・加熱により、温度ヒューズが働き動かなくなります。
 ・動かなくなったら販売店にお問合せ下さい。この場合は修理費が発生します。



禁止

サイドレールを取り付けてご使用の際に、体の一部（頭、腕、脚）をサイドレールから出した状態で、背・ひざ上げ操作しないで下さい。
 ・骨折など、怪我をする原因になります。



禁止

電源プラグは濡れた手で触らないで下さい。
 ・感電する恐れがあります。



禁止

本体の「指はさみ注意」シールを貼ってある周囲に手をおかないで下さい。
 ・骨折など、怪我をする原因になります。



禁止

フットボードと脚ボトムの間には空間があります。介護する場合に足が入ることがありますのでご注意ください。



禁止

介護度が高い方や、背を上げた時に自分で体を保持できず体が斜めになる方の場合、ロングタイプのBG-96Jかベッド用グリップ（PZR-116J、PZR-AT116J）をP46の図のように組み合わせて下さい。背を上げると支えがなくなり、ベッドから転倒する危険性があります。



禁止

フレームをつかんだ状態で背を下げると、サイドレールやフレームの間で指を挟む危険性があります。

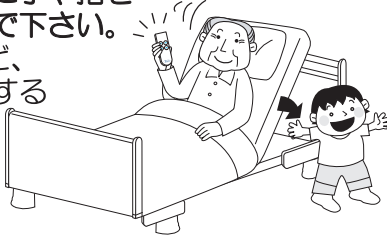


⚠ ご使用上の警告と注意



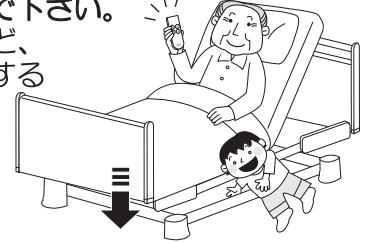
各部の操作をする場合、フレームとボトム間に手や指を入れないで下さい。

- ・骨折など、怪我をする原因になります。



ベッドの下にもぐり込んだり、手や足を入れないで下さい。

- ・骨折など、怪我をする原因になります。



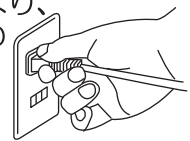
濡れた手で手元スイッチ操作をしないで下さい。水などの液体で、手元スイッチや駆動部をぬらさないで下さい。

- ・ショートして故障、火災や感電の恐れがあります。
- ・誤作動の原因になります。



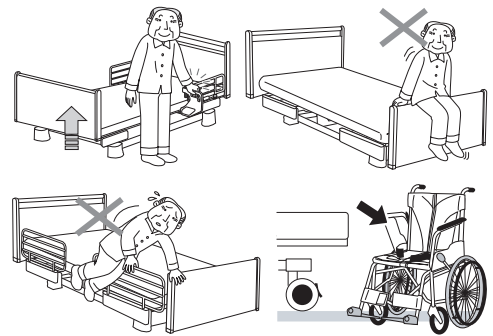
電源プラグを抜く時は必ずプラグ部を持って抜いて下さい。

- ・断線・接触不良により、火災の原因、故障の原因になります。

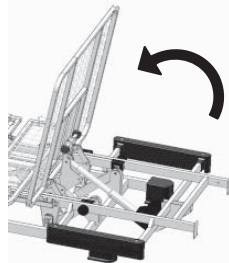


ベッドからの乗り降りの際の転倒事故が多発しています。必ず下記の事を守ってご使用下さい。

- ・ベッド横から乗り降りして下さい。
- ・サイドレールをまたいだり、ヘッド/フットボードをまたいだりしないで下さい。
- ・睡眠薬を服用の際は、医師から指示された時間内にベッドから立ち上がることはしないで下さい。
- ・車いすへの移乗の際は、ベッド、車いすのキャスターがロックされているか確認して、乗り降りして下さい。

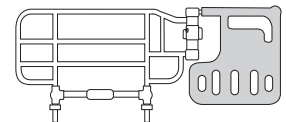
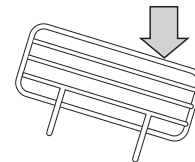


背ボトムを90度以上、動かさないで下さい。ローラーが外れたり、ローラーガイドが変形する事があります。



サイドレールの端に体重を掛けしないで下さい。

- ・傾いて転倒する恐れがあります。
- ・過度の荷重をかけると破損する可能性がありますので、立ち上がり不安のある方は、このベッド指定の「ベッド用グリップ (PZR-116J、PZR-AT116J)」をご利用下さい。



PZR-AT116J

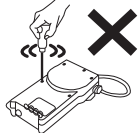


分解・改造はしないで下さい。

- ・故障や感電の原因になります。



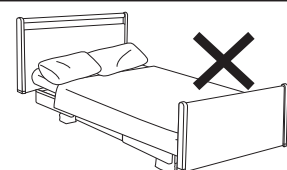
分解禁止



ベッド用グリップのスイング部で、足など人体の一部を挟む可能性がありますので、開閉時やベッドの乗り降りの際にはご注意下さい。



このベッドは一人専用のベッドです。ベッドを二人以上でご使用にならないで下さい。リハビリを行う際、ベッドに座る際、勢いをつけ過度に荷重をかけたりしないで下さい。



⚠ ご使用上の警告



本体に貼ってあるシールは剥がさないで下さい。お客様を危険から守るための物や故障時に素早い対応をする為の物です。

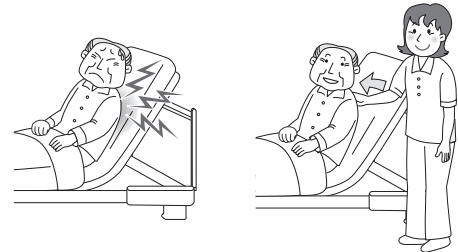
・ロット番号から詳細仕様が分かり、的確な対応が可能になります。



介護者の方へ

背ボトムを上げると寝ている人の背中全体に加圧（背圧）が生じ放置すると呼吸困難にもなります。これはどのベッドでも構造上避けることができない現象です。これを解消するために背上げが終わった時に、図の様に背とマットの間に手を入れて背を起し、背抜き（除圧）してあげて下さい。

・除圧しないと腰痛、床ずれが発生したり、場合により呼吸困難にもなります。



サイドテーブルを使用するときは、図のように体重をかけると転倒する恐れがあります。



⚠ ご使用上の注意



モーター作動中にテレビ等にノイズが発生することがございます。予めご了承下さい。



温熱治療具などベッドの上で電子治療器を使用される場合は電源プラグを抜いて下さい。

⚠ リフト使用時の注意



リフトを使用する場合リフトの形状にもよりますが、ベッドの下にリフトの脚を挿入し固定する種類があります。ミオレットの脚部にハイト Spacer (M2RJ-H35: オプション) を装着することで、有効高さを 5 cm から 8.5 cm に上げることが可能です。
(M3 (R・S)J・M2 (R・S)J・M1 (R・S)JH 各シリーズ)
M1 (R・S)JB シリーズは同梱しております延長脚の組み合わせにより、組立時に高さ調節が可能です。使用されるリフトの種類により脚の高さが異なりますので、詳しくは販売店に確認して下さい。

⚠ 停電時の注意

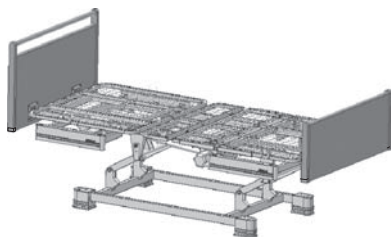


停電時には、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。停電時は電動操作ができませんが、復旧した場合は通常通りご使用できます。停電が長引き、かつ背上げしている状態では使用者の方が、腹部の圧迫により呼吸への悪影響がある場合があります。呼吸が苦しうであれば、ベッドの使用を直ちに中止して下さい。ご利用者をベッドから下ろしていただき、取扱説明書をご覧の上（参考 P15）、モーターのピンを外して下さい。背ボトムを水平状態にし、安全を確認の上、ご利用者をベッドに移乗して下さい。

ベッドの設置・組み立て・分解は販売店もしくは弊社指定の業者にお任せ下さい。

ベッドの設置について

必ず丈夫で水平な床に設置して下さい。



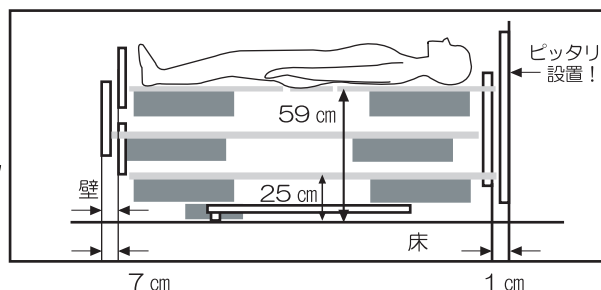
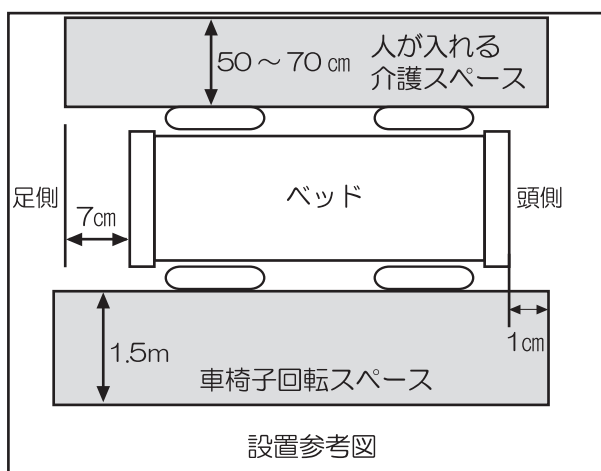
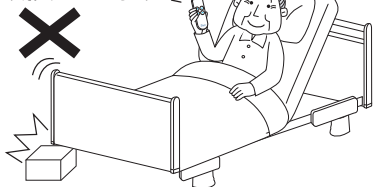
ベッドの重量（マットレスや周辺機器を含む）と使用される方の体重（例：80 kg）を合わせると約 200 kg の総重量となります。この荷重に十分耐えられる水平な場所へ設置して下さい。

※最大使用者体重：120 kg

フローリングでは滑る事があり危険です。畳の場合は脚部の跡が残ります。ベッド専用のカーペット（PSC-1216SC）をご利用下さい。

おねがい

- ベッドの周りは出来るだけ広い空間を確保して下さい。
 - ・療養される方のベッドからの移乗や介護する場合のスペースを充分検討して設置して下さい。
- 電源コンセントの位置から 10 cm 程度離し、昇降時に電源プラグとベッドが接触しないようにして下さい。
- 昇降の際にフットボード側に 7 cm 程度動きまますので、物を置かないようにスペースを確保して下さい。
- 頭側は壁から 1 cm 以上のスペースをあけて下さい。
- ベッドの下に物を置かないで下さい。
 - ・昇降時にベッドが破損したり、ベッドが斜めに傾くことがあります。危険です。



- ストーブや火気のある物などをベッドの近くに設置しないで下さい。
 - ・機器の変形や火災の原因になり非常に危険です。



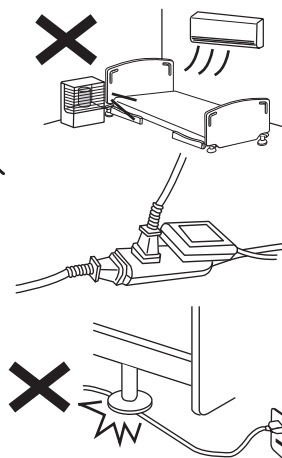
- 配線器具の定格を超える「たこ足配線」や表示された電圧（100V）以外の電圧では使用しないで下さい。
 - ・火災やモーター故障の原因になります。



- 電源コードや手元スイッチのコード等を、引張ったり、はさまないようにして下さい。
 - ・断線が発生し、感電、発火、モーターの故障の原因になります。



- 組み合わせるサイドレール、ベッド用グリップは下記の型式以外は使用しないで下さい。
 - ・危険な隙間が発生し、腕や首、頭を挟むなど重大事故の原因になります。
 - ・BG-53J・BG-75J・BG-96J・PZR-116J・PZR-AT116J

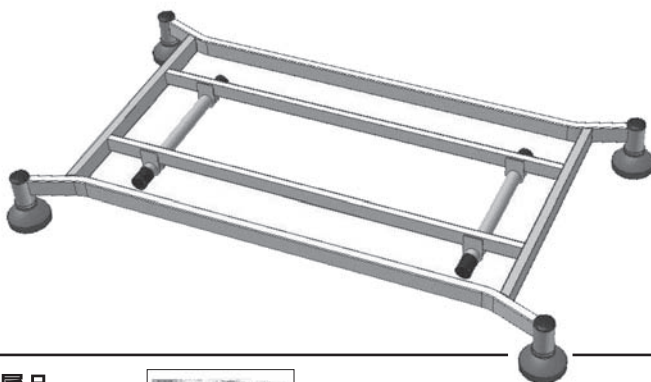


開梱と部品の確認

- 商品が到着した時点で、下記の部品が全て同梱されているか、また、破損していないか確認してください。
万一、部品の不足や破損があった場合は、販売店または弊社まで御連絡下さい。

梱包(1/5) ベースフレーム

1



背上げ1モーターベッド
PZB-M1RJB,PZB-M1RJB/M,PZB-M1SJB,
PZB-M1RJB-HH,PZB-M1RJB/M-MH,
PZB-M1SJB-HH

■付属品



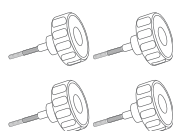
取扱説明書(本書)



チェックリスト



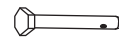
保証書



ノブボルト×4



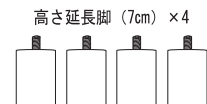
マットレス
ストッパー×2



ピン×1



割りピン×3



高さ延長脚 (7cm) × 4

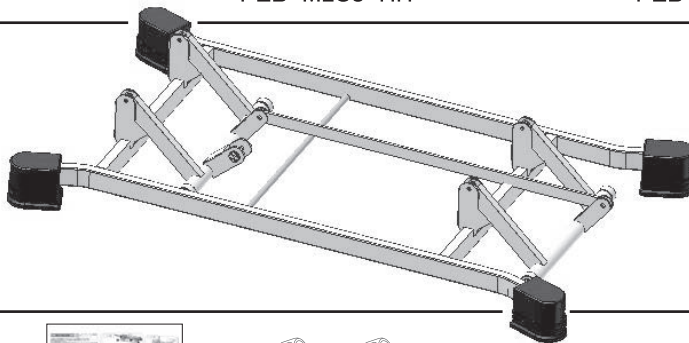


高さ延長脚 (3.5cm) × 4

昇降1モーターベッド
PZB-M1RJH,M1RJH/M,PZB-M1SJH,
PZB-M1RJH-HH,M1RJH/M-MH,
PZB-M1SJH-HH

2モーターベッド
PZB-M2RJ,M2RJ/M,PZB-M2SJ,
PZB-M2RJ-HH,M2RJ/M-MH,
PZB-M2SJ-HH

3モーターベッド
PZB-M3RJ,M3RJ/M,PZB-M3SJ,
PZB-M3RJ-HH,M3RJ/M-MH,
PZB-M3SJ-HH



■付属品



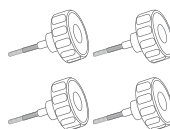
取扱説明書(本書)



チェックリスト



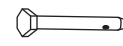
保証書



ノブボルト×4



マットレス
ストッパー×2



ピン×1



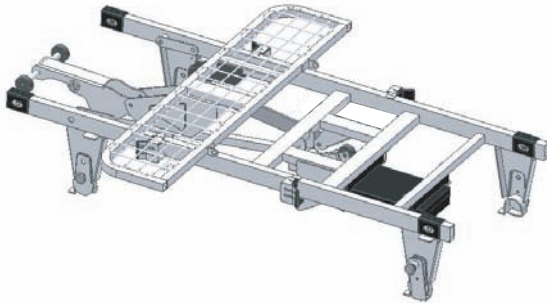
割りピン×3

*昇降1モーターベッドPZB-M1R(S)
JHシリーズは、割りピン1本とピン1本
は使用しません。

開梱と部品の確認

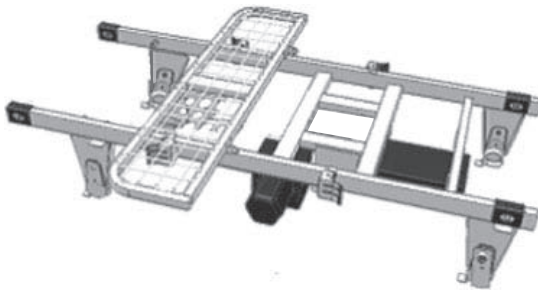
梱包 (2/5) センターフレーム

2



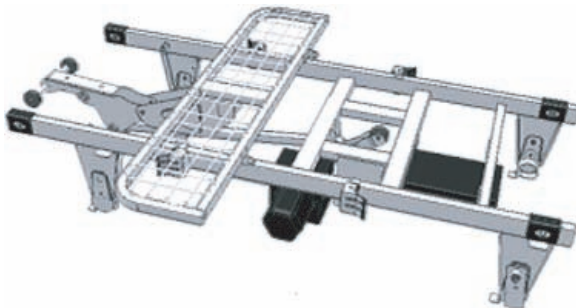
背上げ1モーターベッド
PZB-M1RJB,M1RJB/M,PZB-M1SJB,
PZB-M1RJB-HH,M1RJB/M-MH,
PZB-M1SJB-HH

○トランス×1
○手元スイッチ×1
○電源コード ○三又コード



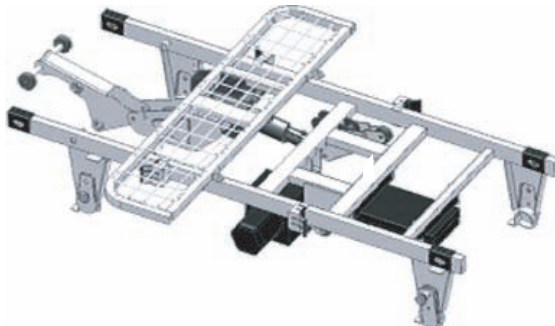
昇降1モーターベッド
PZB-M1RJH,M1RJH/M,PZB-M1SJH,
PZB-M1RJH-HH,M1RJH/M-MH,
PZB-M1SJH-HH

○昇降モーター×1
○トランス×1
○手元スイッチ×1
○電源コード



2モーターベッド
PZB-M2RJ,M2RJ/M,PZB-M2SJ,
PZB-M2RJ-HH,M2RJ/M-MH,
PZB-M2SJ-HH

○昇降モーター×1
○トランス×1
○手元スイッチ×1
○電源コード



3モーターベッド
PZB-M3RJ,M3RJ/M,PZB-M3SJ,
PZB-M3RJ-HH,M3RJ/M-MH,
PZB-M3SJ-HH

○昇降モーター×1
○ひざ上げ用モーター×1
○トランス×1
○手元スイッチ×1
○電源コード ○分配器

開梱と部品の確認

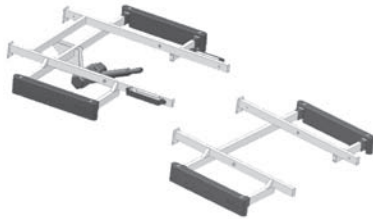
梱包 (3/5)

ヘッドフレーム・フットフレーム

背上げ1モーターベッド：PZB-M1RJB,
PZB-M1RJB/M,PZB-M1RJB-HH,M1RJB/M-MH

2モーターベッド：PZB-M2RJ,PZB-M2RJ/M,
PZB-M2RJ-HH,M2RJ/M-MH

3モーターベッド：PZB-M3RJ,PZB-M3RJ/M,
PZB-M3RJ-HH,M3RJ/M-MH



- 背上げ用モーター×1
- ヘッドボード固定ピン×2
- フットボード固定ピン×2

昇降1モーターベッド：PZB-M1RJH,
PZB-M1RJH/M,PZB-M1RJH-HH,
PZB-M1RJH/M-MH

- ヘッドボード固定ピン×2
- フットボード固定ピン×2

ショートタイプ専用

昇降1モーターベッド：
PZB-M1SJH,PZB-M1SJH-HH

- ヘッドボード固定ピン×2
- フットボード固定ピン×2

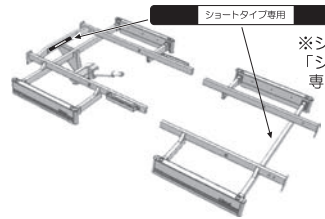
※ショート用には
「ショートタイプ
専用」のシール
が貼って
あります

ショートタイプ専用

背上げ1モーターベッド：
PZB-M1SJB,PZB-M1SJB-HH

2モーターベッド：PZB-M2SJ,PZB-M2SJ-HH

3モーターベッド：PZB-M3SJ,PZB-M3SJ-HH



※ショート用には
「ショートタイプ
専用」のシール
が貼って
あります

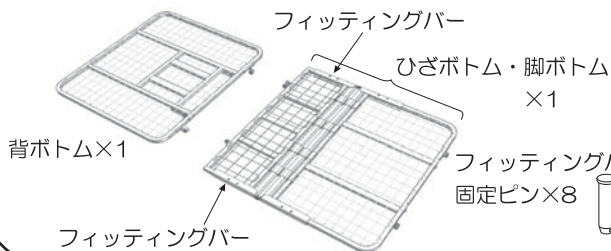
- 背上げ用モーター×1
- ヘッドボード固定ピン×2
- フットボード固定ピン×2

梱包 (4/5)

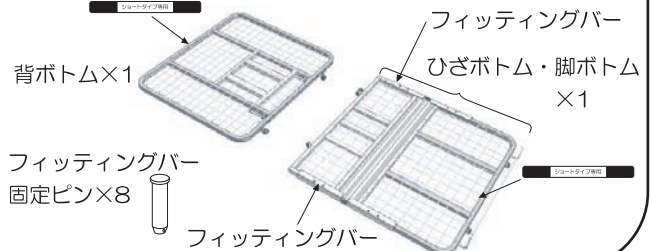
背ボトム、ひざ・脚ボトム

※ひざボトムと脚ボトムは一体で、取り外しは致しません

フラットタイプ・宮付タイプ共通



ショートタイプ専用



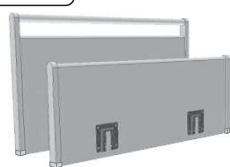
※ショート用には「ショートタイプ専用」
のシールが貼ってあります

梱包 (5/5)

ヘッドボード・フットボード

フラットタイプ共通

ヘッドボード×1
フットボード×1



宮付タイプ共通

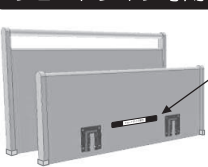
宮付
ヘッドボード×1
フットボード×1



ショートタイプ専用

※ショート用には
「ショートタイプ専用」
のシールが貼ってあります

ヘッドボード×1
フットボード×1



ヘッドボード・ヘッドボードタイプ共通

ヘッドボード×2



宮付ヘッドボード・
ヘッドボードタイプ共通

宮付
ヘッドボード×1
ヘッドボード×1



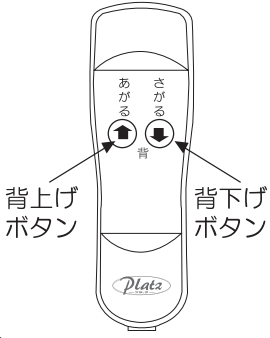
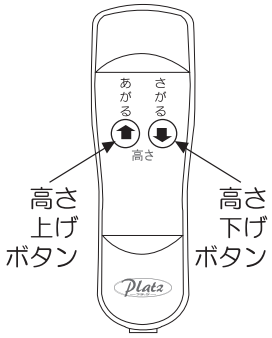
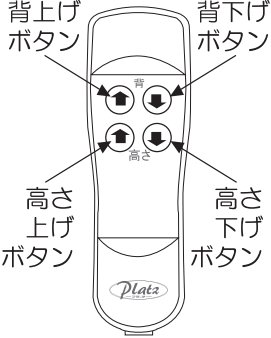
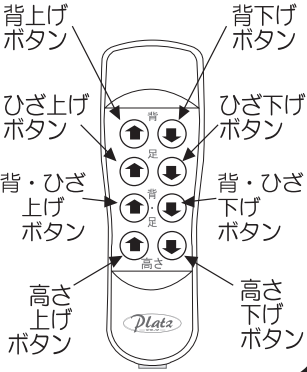
ショートタイプ専用

※ショート用には
「ショートタイプ専用」
のシールが貼ってあります

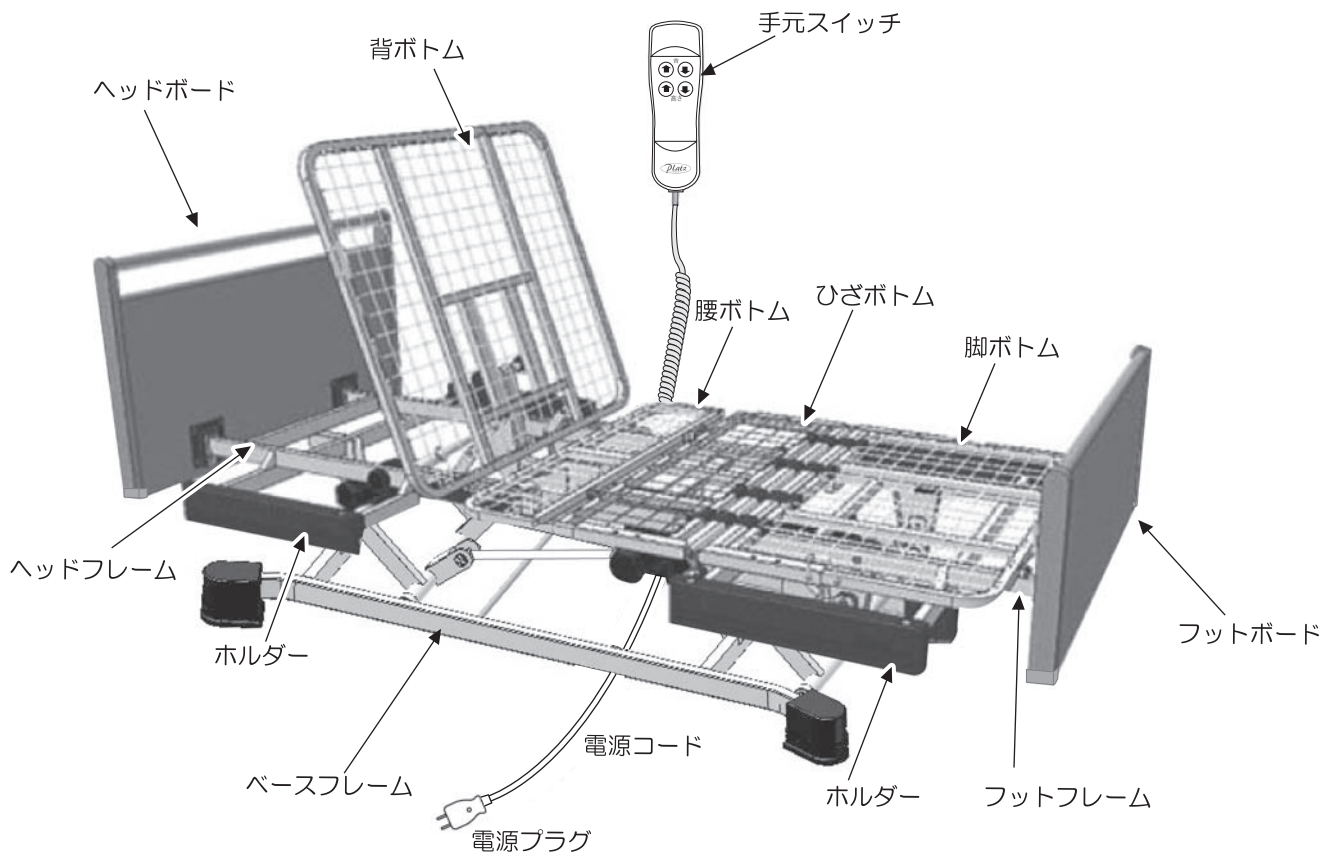
ヘッドボード×2



各部の名称

手元スイッチ			
背上げ1モーターベッド PZB-M1RJB・ PZB-M1RJB/M・ PZB-M1SJB・ PZB-M1RJB-HH・ PZB-M1RJB/M-MH・ PZB-M1SJB-HH	昇降1モーターベッド PZB-M1RJH・ PZB-M1RJH/M・ PZB-M1SJH・ PZB-M1RJH-HH・ PZB-M1RJH/M-MH・ PZB-M1SJH-HH	2モーターベッド PZB-M2RJ・ PZB-M2RJ/M・ PZB-M2SJ・ PZB-M2RJ-HH・ PZB-M2RJ/M-MH・ PZB-M2SJ-HH	3モーターベッド PZB-M3RJ・ PZB-M3RJ/M・ PZB-M3SJ・ PZB-M3RJ-HH・ PZB-M3RJ/M-MH・ PZB-M3SJ-HH
			

*仕様変更により、イラストと仕様が異なる場合があります



ベースフレームとセンターフレームを組み立てます

ピン
の色
について

- 黒 黒いピンは取り外ししません
- 銀 銀のピンは取り外します
- 金 金のピンは必要に応じて取り外します

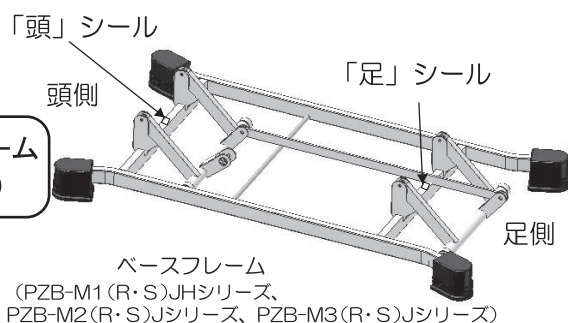


注意

組み立ての際に、手や指を挟まないようにご注意ください。

1

ベースフレームを準備します。頭、足側の位置を確認して下さい。



- ※ 移動用のキャスターM2RJ-8CKS（オプション）を取り付けることが可能です。取り付け方法はキャスターセットに同梱しております取扱説明書をお読み下さい。キャスターを取り付けた場合のM3 (R・S) Jシリーズ、M2 (R・S) Jシリーズ、M1 (R・S) JHシリーズの床面高さは29cm～63cmになります。
- ※ 床面高さを35mm上げるためのハイトスペーサーM2RJ-H35（オプション）の取付けが可能です。取付け方法はハイトスペーサーに同梱しております取扱説明書をお読み下さい。（なお、ハイトスペーサーを取付けた場合のM3 (R・S) Jシリーズ、M2 (R・S) Jシリーズ、M1 (R・S) JHシリーズの床面高さは28.5cm～62.5cmになります。）

背上げ1モーターベッドPZB-M1 (R・S) JBシリーズ



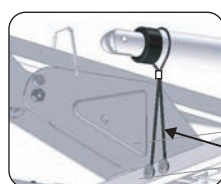
- ※ 移動用のキャスター（オプション）を取り付けることが可能です。PZB-M1 (R・S) JBシリーズの専用キャスターはM1 R JB-8CKSです。取付けた場合の床面高さは33cmです。
- ※ M1 (R・S) JBシリーズは同梱しております延長脚（3.5cm<PDP-35G>、7cm<PDP-70G>）の組み合わせにより、組立時に29/32.5/36/39.5cmの高さ調節が可能です。（なおオプションの延長脚の組み合わせは、不安定状態になることから最高2個までとします。）

背上げ1モーターベッドPZB-M1 (R・S) JBシリーズは次ページ2-2へ進んでください

2-1

センターフレーム
梱包 (2/5)

裏向きの状態で、モーター先端の割りピンとピン（銀色）を外して下さい。
※割りピンとピン（銀色）は『2-5』で使用しますので無くさないようご注意ください。



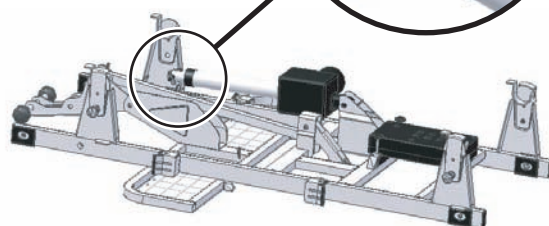
①昇降モーターはセンターフレームにゴムで固定されています。



②固定しているゴムとインシュロックを切らないように、モーター先端を外します。

③割りピンを外して下さい

④ピン（銀色）を抜いて下さい



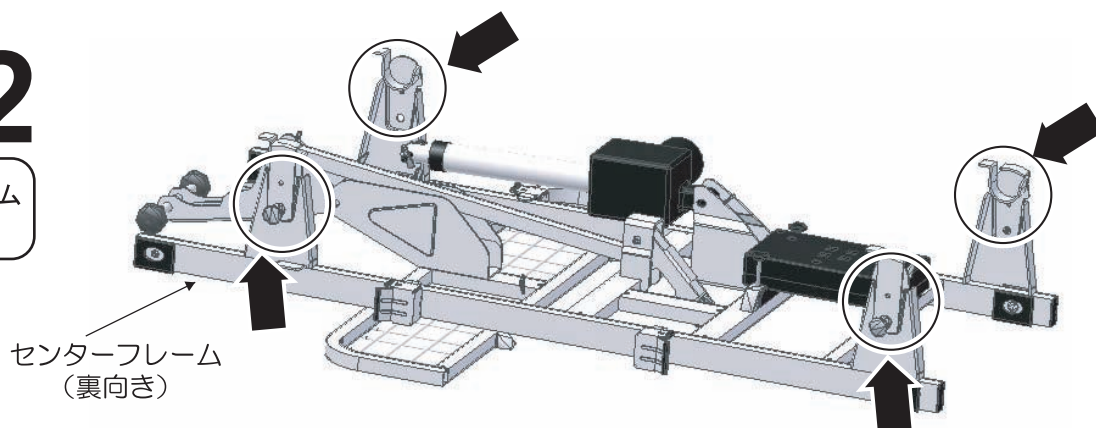
背上げ1モーターベッド
PZB-M1 (R・S) JBシリーズ
には必要ありません

ベースフレームとセンターフレームを組み立てます

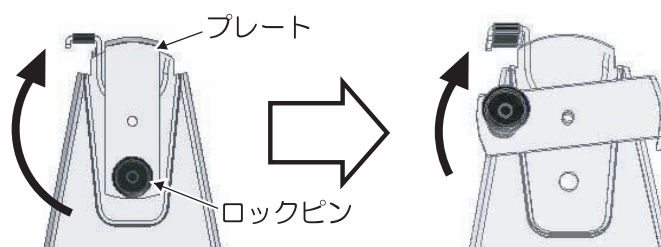
矢印(4箇所)のロックピンを引きながら、プレートを回して下さい。

2-2

センターフレーム
梱包 (2/5)



※ロックピンを手前に引きながら、
プレートを矢印の方向に
回転させて下さい。
なお、反対側は逆回転の方向に
回して下さい。



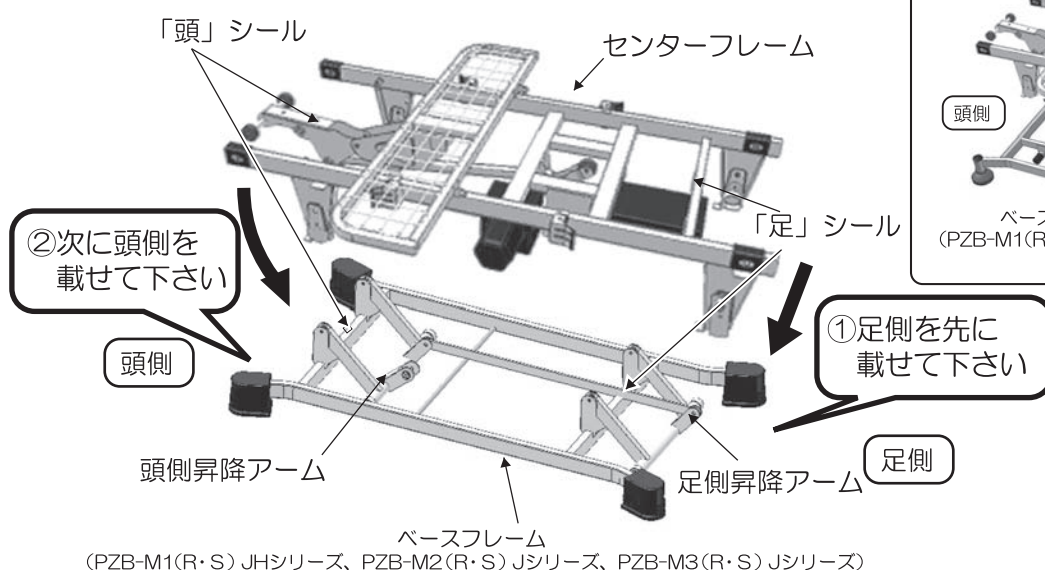
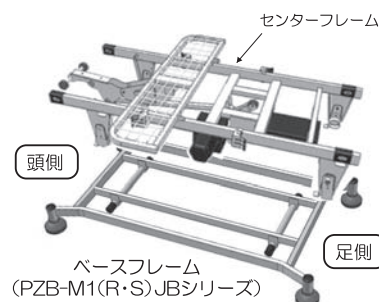
2-3

センターフレーム
梱包 (2/5)

センターフレームを表向きにして、
ベースフレームの上に組み付けます。
下図のようにセンターフレームの足側
から昇降アームに先に載せ、次に頭側
を昇降アームに載せて下さい。必ず
「頭」「足」シールで向きを確認して下さい。

背上げ1モーターベッド
PZB-M1(R・S)JBシリーズ

左図を参照して、
同様にベースフレームと
センターフレームを組み
立てます。

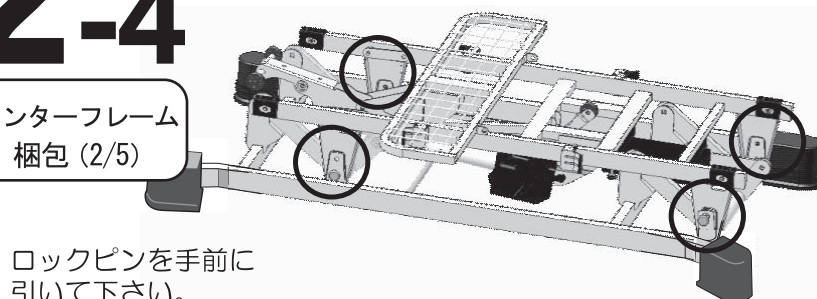


ベースフレームとセンターフレームを組み立てます

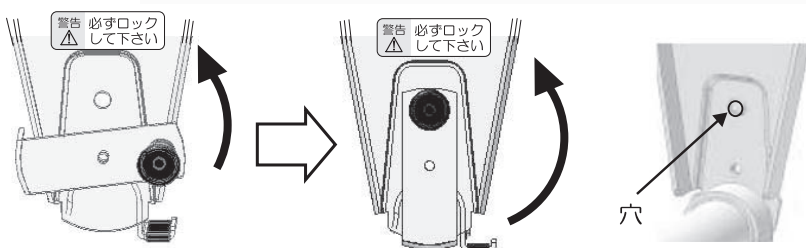
2-4

センターフレーム
梱包 (2/5)

下記4箇所のプレートを回して、
ロックピンを穴にはめて下さい。



ロックピンを手前に
引いて下さい。



背上げ1モーターベッド
PZB-M1 (R・S) JBシリーズ

左図を参照して、
同様にベースフレームと
センターフレームを組み
立てます。

センターフレーム
ベースフレーム
(PZB-M1 (R・S) JBシリーズ)

背上げ1モーターベッド
PZB-M1 (R・S) JBシリーズは
次ページ3-1へ進んでください

ロックピンを上に戻して
裏面のピンが穴にはまって
いることを確認して下さい。



警告

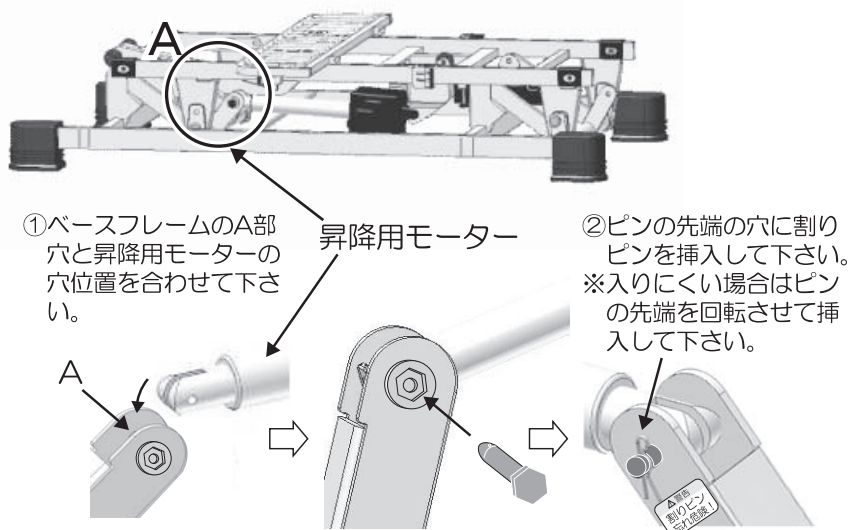
このロックを忘れるとベッドが転倒し非常に危険です。
定期的にロックされているか確認して下さい。

2-5

センターフレーム
梱包 (2/5)

背上げ1モーターベッド
PZB-M1 (R・S) JBシリーズ
には必要ありません

昇降モーターの取り付け
2-1で外したピンと割りピンを使用
して昇降モーターを取り付けます。



警告

このピンが外れるとベッドが突然落下し非常に危険です。
定期的に割りピンが挿入されているか確認して下さい。

ヘッドフレームを取り付けます

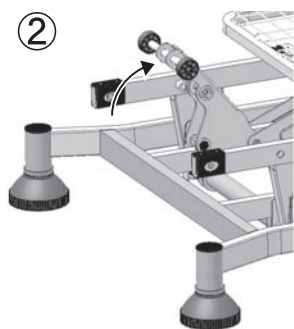
3-1

ヘッドフレーム
フットフレーム
梱包 (3/5)

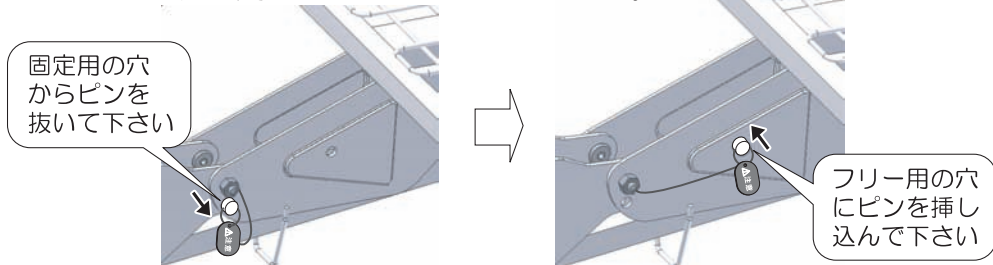
昇降1モーターベッド
PZB-M1(R・S) JHシ
リーズにはピンとモ
ーターはありません
④に進んで下さい

背上げ1モーターベッド
PZB-M1(R・S) JBシリーズ

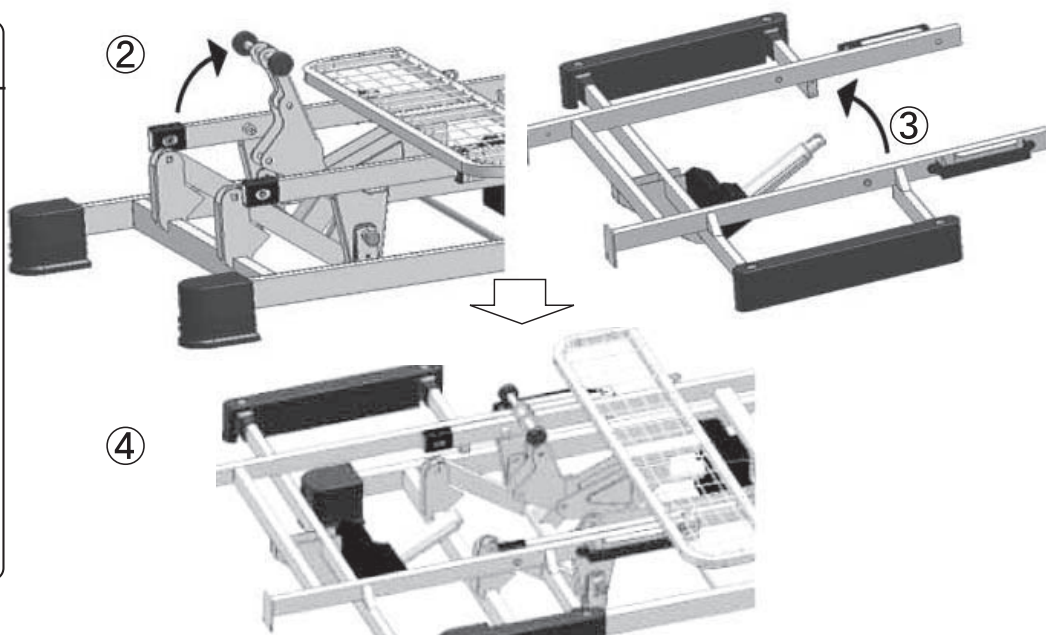
右図を参照して、同様
にヘッドフレームを
組み立てます。



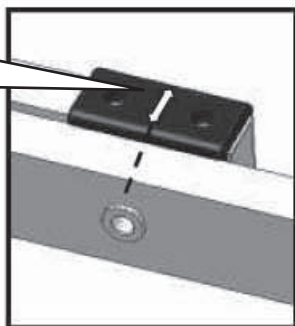
センターフレームにヘッドフレームを取り付けて下さい。
①センターフレームのローラー部はピンでロックされています。
ピンをフリー用の穴に差し替えて下さい。



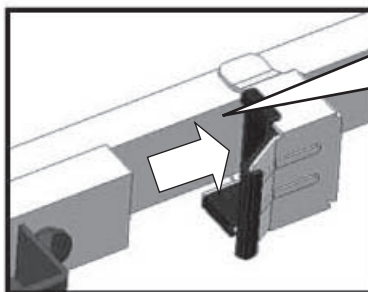
- ②センターフレームのローラー部を持ち上げて下さい。
- ③モーターの先端を持ち上げて手で支えて下さい。
- ④ヘッドフレームをセンターフレームに挿入して下さい。



キャップの矢印の
位置を目安にして、
パイプの穴を合わ
せて下さい



センターフレーム
のキャップにヘッド
フレームの先端を
差し込んで下さい



注意

ヘッドフレーム、フットフレームを持ち運びの際は
ホルダーの部分を持たないで下さい。割れてケガを
するおそれがあります。

ヘッドフレームを取り付けます

3-2

ヘッドフレーム
フットフレーム
梱包 (3/5)

付属のノブボルトでしっかり固定して下さい。



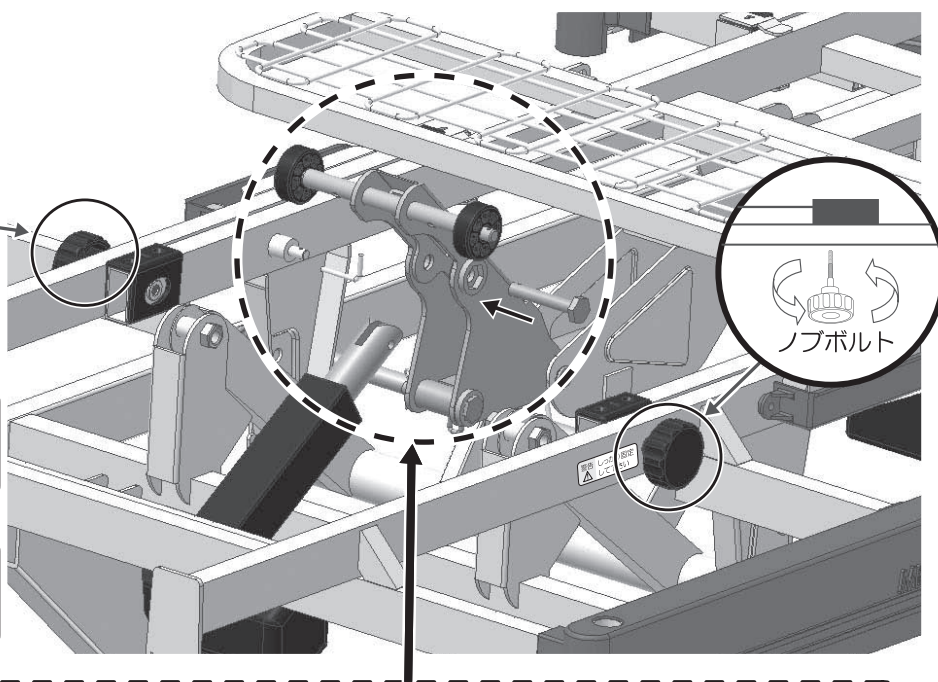
警告

このノブボルトが外れるとベッドが突然落下し非常に危険です。定期的にノブボルトがしっかり固定されているか確認して下さい。



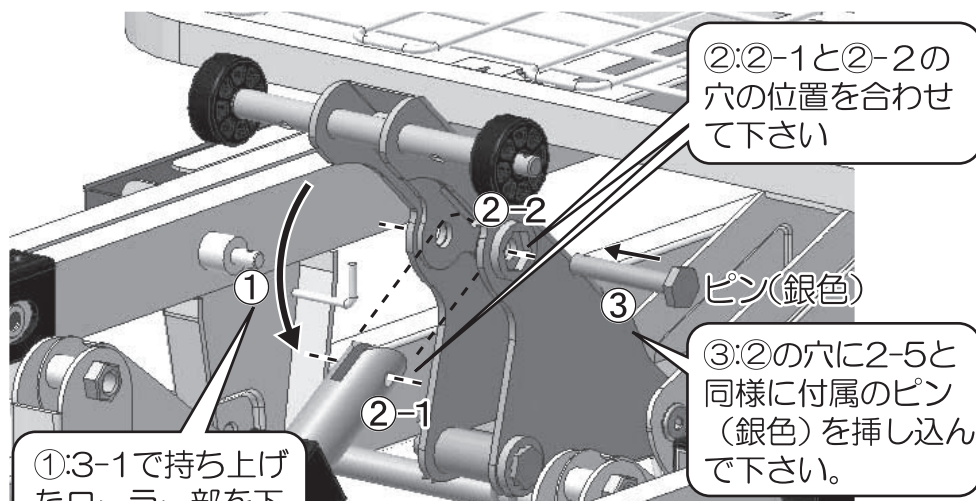
昇降1モーターベッド
PZB-M1 (R・S) JHシリーズ
にはこのモーターはありません

昇降1モーターベッド
PZB-M1 (R・S) JHシリーズ
は**4**に進んで下さい



3-3

ヘッドフレーム
フットフレーム
梱包 (3/5)

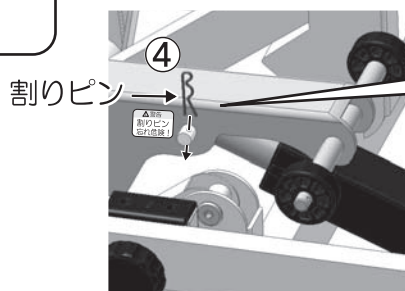


①:3-1で持ち上げたローラー部を下げて下さい



警告

このピンが外れると突然背ボトムが落下し非常に危険です。定期的に割りピンが挿されているか確認して下さい。



④:③で挿し込んだピンの先端の穴に割りピンを挿入して下さい。

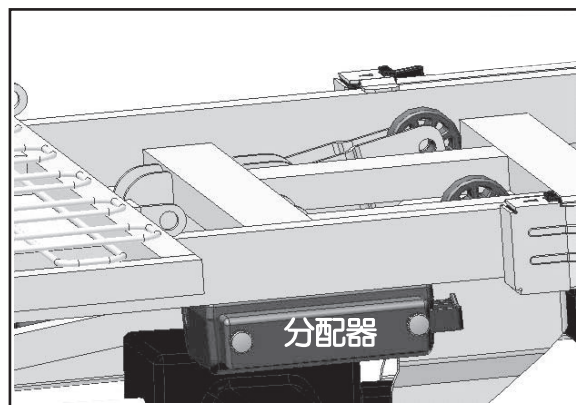
3モーターベッドにモーターコードを取り付けます

3-4

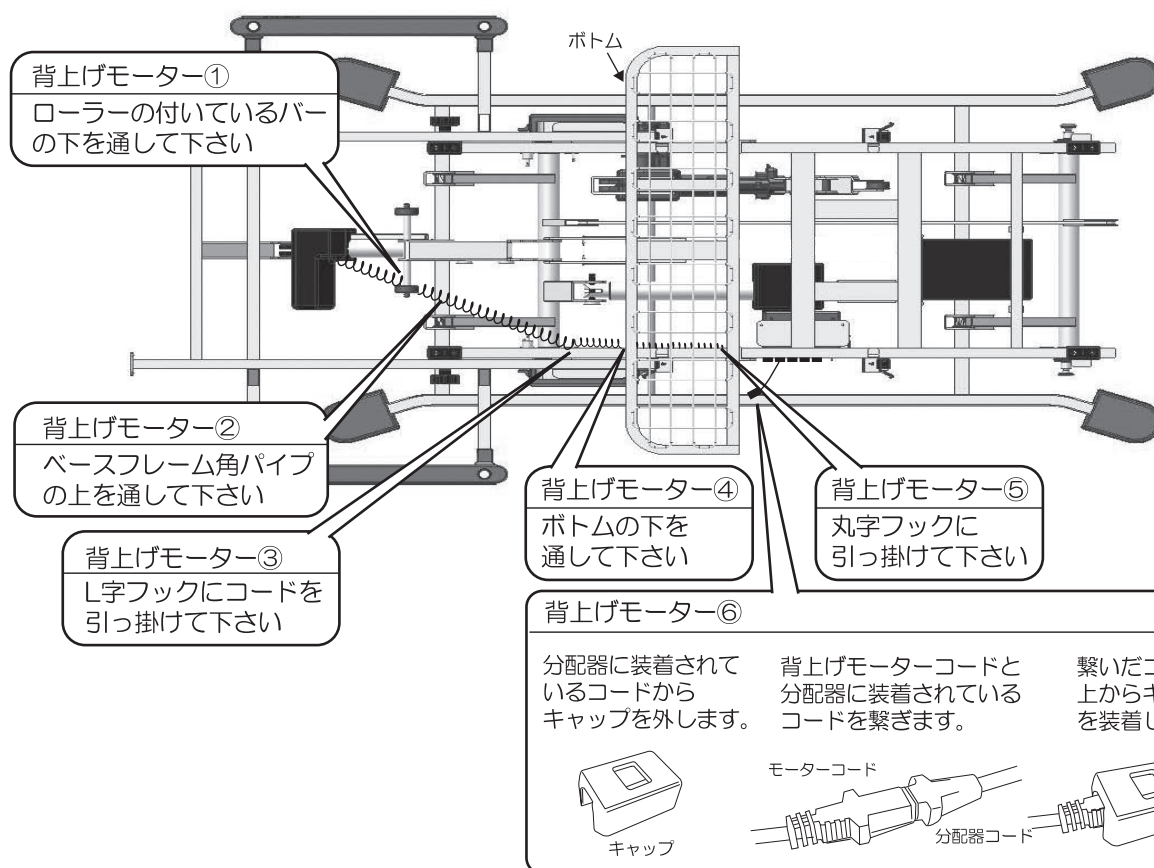
センターフレーム
梱包 (2/5)

3モーターベッド
PZB-M3(R・S) J シリーズのみ

背上げモーターコードの取り回しを下記の様に行なって下さい。
背上げモーターコードと分配器に装着されているコードを繋いで、上からキャップを装着して下さい。



背上げモーターコードの取り回しを下記の様に行なって下さい。



警告

正しい配線をしないと、断線し感電の危険性が発生します。
定期的に基準通り配線されているか確認して下さい。

3モーターベッドにモーターコードを取り付けます

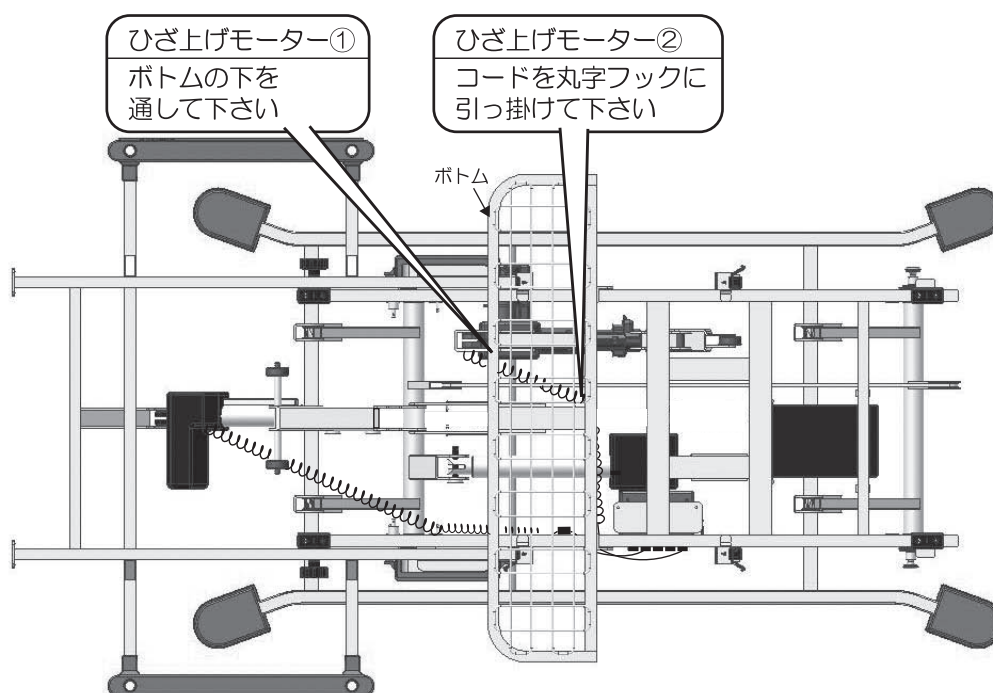
3-5

センターフレーム
梱包 (2/5)

3モーターベッド

PZB-M3(R・S) Jシリーズのみ

背上げモーターコード以外のモーターコードは、あらかじめ分配器に装着されています。各モーターコードの取り回しが下記の様に行なわれているか、ご確認ください。



警告

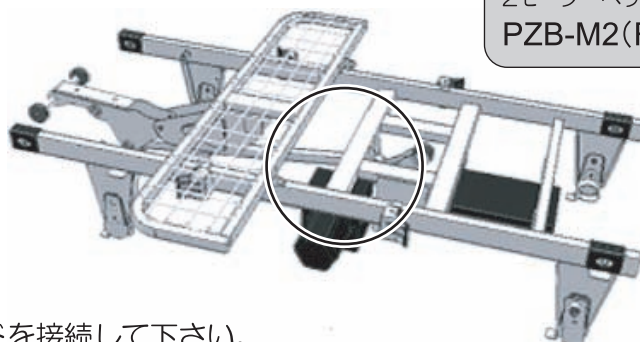
正しい配線をしないと、断線し感電の危険性が発生します。
定期的に基準通り配線されているか確認して下さい。

2モーターベッドに背上げモーターコードを取り付けます

3-6

センターフレーム
梱包 (2/5)

2モーターベッド
PZB-M2(R・S) J シリーズのみ

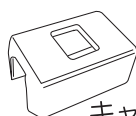


①背上げモーターコードを接続して下さい。

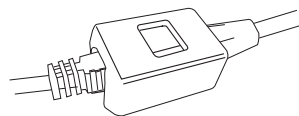
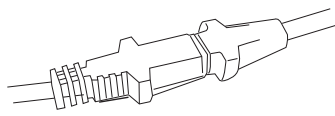
装着されている
キャップを外します

背上げモーター
コードを繋ぎます

繋いだコードの上から
キャップを装着します



キャップ



手元スイッチコードは
最初から接続
されています。

手元スイッチ

背上げモーター

②モーターコードを下記の様にフックに引っ掛けて下さい。



モーターコードの中央付近を引張り、
内側のL字のフックに引っ掛けて下さい

1 モーターベッドに背上げ用モーターコードを取り付けます

3-7

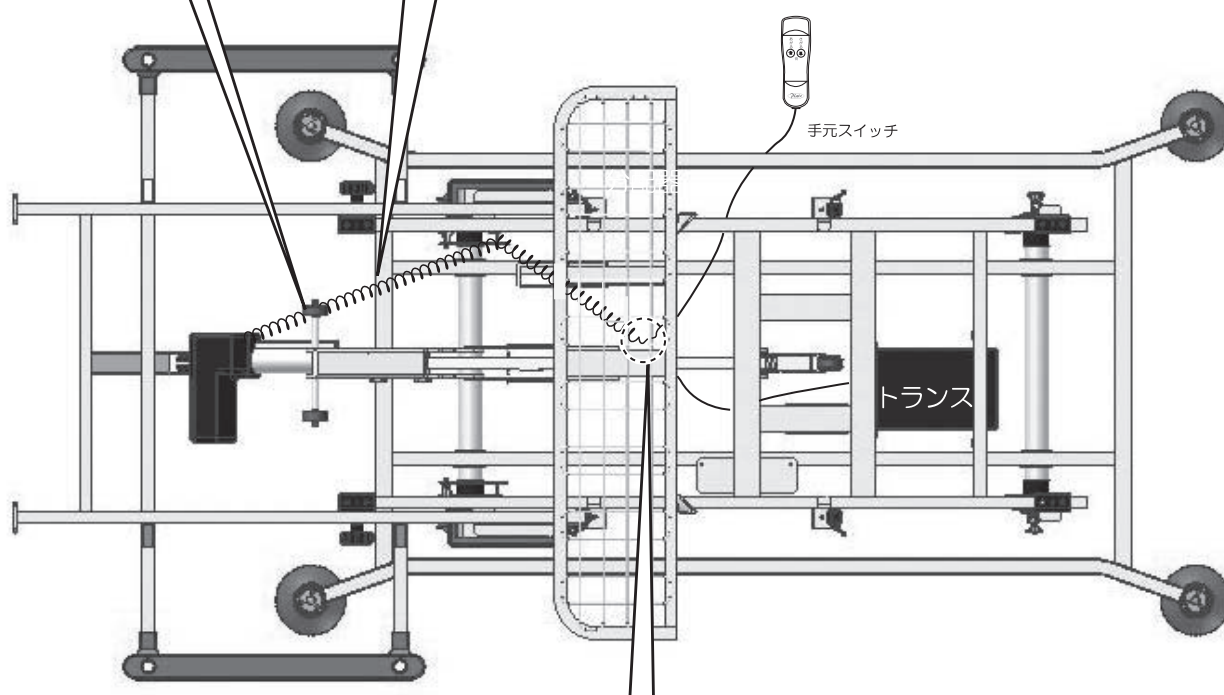
センターフレーム
梱包 (2/5)

モーターコードの取り回しを下記の様
に行なって下さい。

背上げ1モーターベッド
PZB-M1(R・S) JB シリーズのみ

背上げモーター①
ローラーの付いているバー
の下を通して下さい

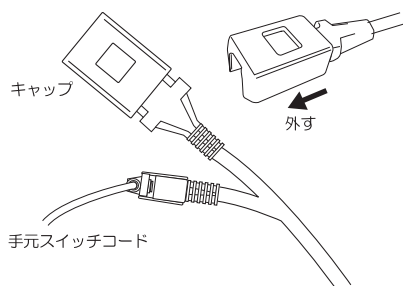
背上げモーター②
ベースフレーム角パイプ
の上を通して下さい



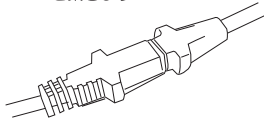
背上げモーター③

トランスに装着されている三又コードにモーターコードを差し込みます。

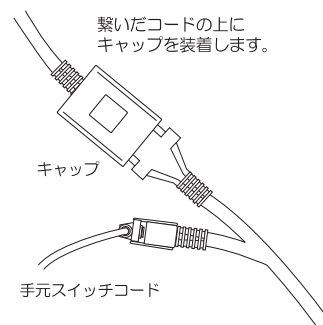
三又コードの先のキャップを外します



三又コードとモーターコード
を繋ぎます



繋いだコードの上に
キャップを装着します。



警告

正しい配線をしないと、断線し感電の危険性が発生します。
定期的に基準通り配線されているか確認して下さい。

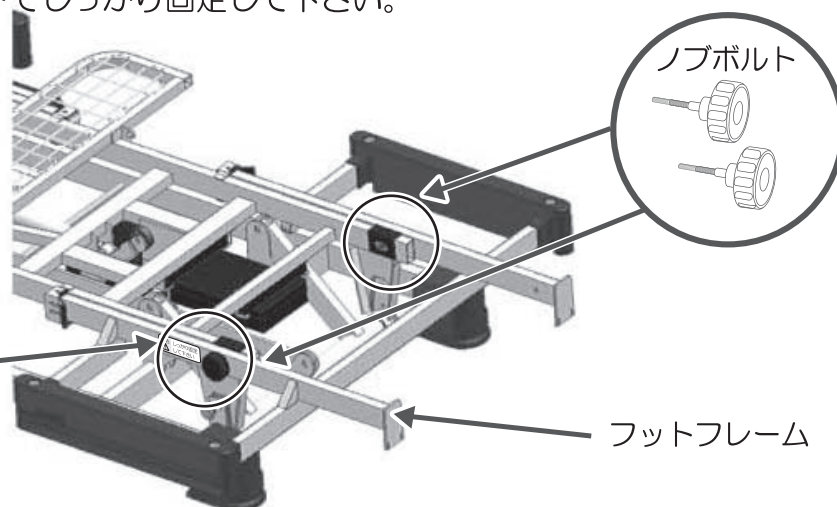
フットフレームを取り付けます

3-8

フットフレーム
梱包 (3/5)

ヘッドフレームの取り付けと同様にしてフットフレームを取り付け
ノブボルトでしっかり固定して下さい。

穴位置を合わせて
下さい。3-1参照



警告

このノブボルトが外れるとフットフレームが外れ非常に危険です。
定期的にノブボルトがしっかり固定されているか確認して下さい。

ひざ・脚ボトムを取り付けます

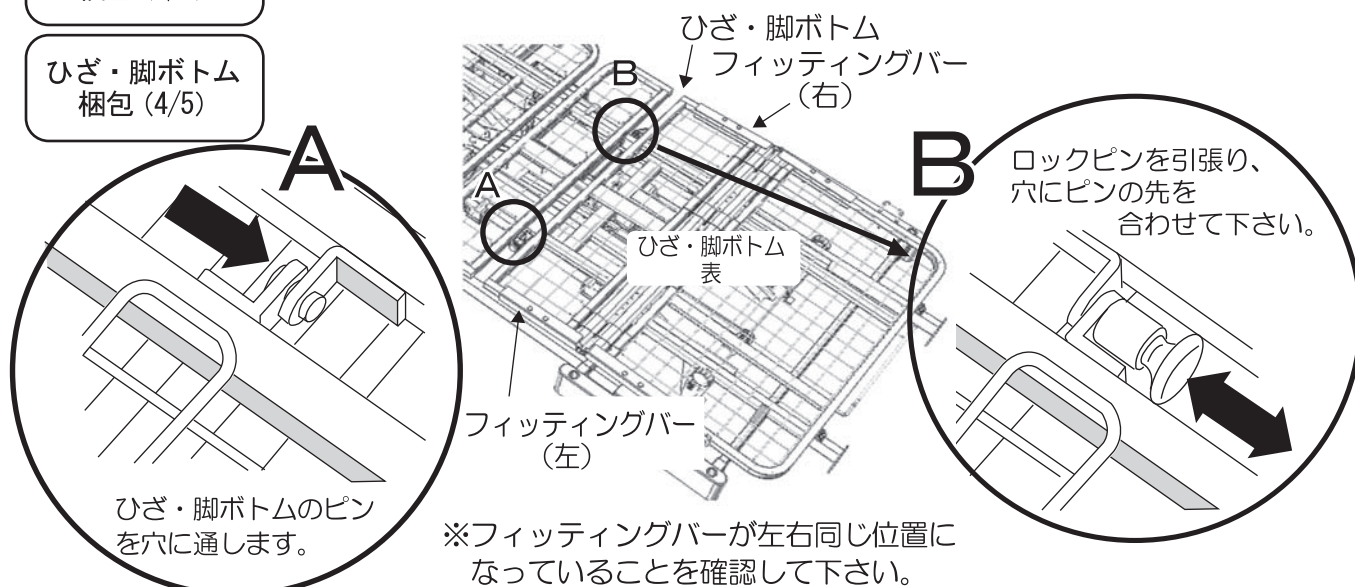
4-1

センターフレーム
梱包 (2/5)

ひざ・脚ボトム
梱包 (4/5)

センターフレームに、ひざ・脚ボトムを取り付けます。

※指をはさまない様ご注意ください。



警告

このロックピンが外れると動作中にセンターフレームとの間に危険な隙間が
生まれ非常に危険です。定期的にロックピンが入っているか確認して下さい。

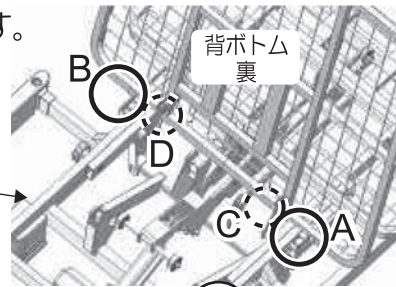
背ボトムを取り付けます

4-2

センターフレームに、
背ボトムを取り付けます。

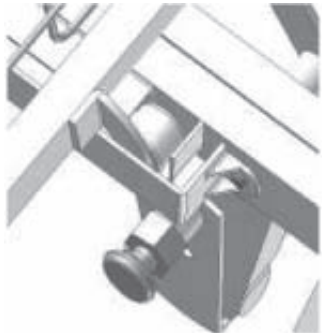
背ボトム 梱包 (4/5)
センターフレーム 梱包 (2/5)

センターフレーム



① A.B

背ボトムのローラーをセンターフレームのガイドに上から入れて下さい。



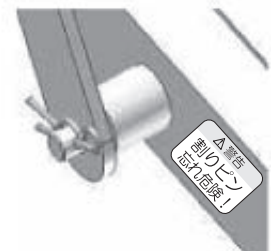
②

ネットを傾けて、下図の様にローラーをガイドの内側に入れて下さい。



③ C.D

次に背ボトムのバックオーバーをピンに差込み、割りピンで止めて下さい。



警告

このピンが外れると動作中に背ボトムがゆがみ、危険な隙間が生まれ非常に危険です。定期的に割りピンが挿入されているか確認して下さい。

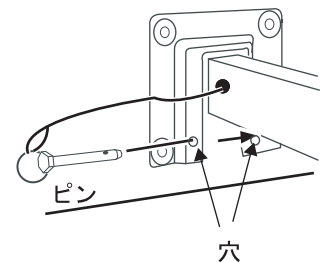
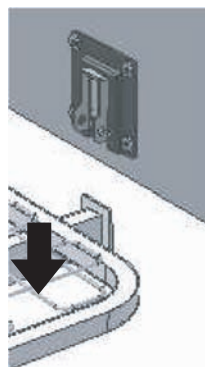
ヘッドボード・フットボードを取り付けます

5

ヘッドボード・フットボードを取り付けます。

① 真上から差し込みます

ヘッドボード・フットボード
梱包 (5/5)



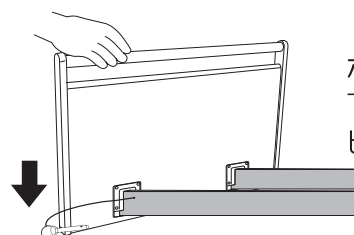
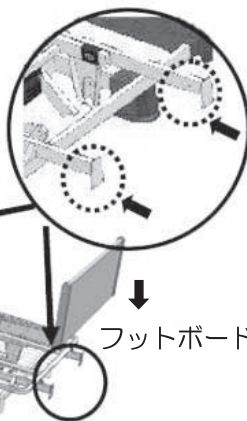
②

本体に付いているピンをヘッドボード・フットボードの金具にしっかりと差し込んで下さい。
(4箇所)

ヘッドボード



フットボード



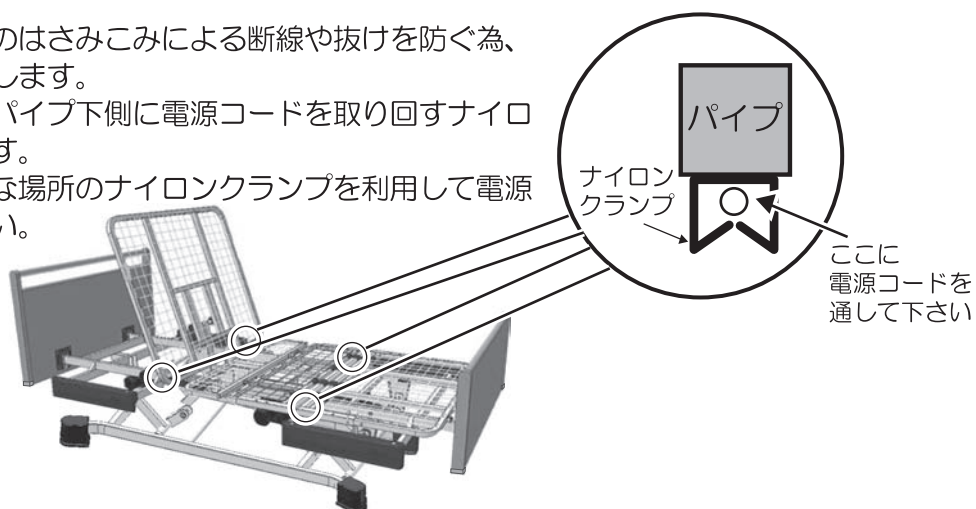
ボードの上部分を押し下げながら荷重を掛けてピンを入れて下さい。

電源コードの取り回し

ベッドへの各部位ではさみこみによる断線や抜けを防ぐ為、電源コードを取り回します。

右図（丸印箇所）のパイプ下側に電源コードを取り回すナイロクランプがあります。

4箇所のうち、適当な場所のナイロクランプを利用して電源コードを通して下さい。



警告

昇降アームに電源コードが挟まれると、断線し感電の危険性が発生します。定期的に基準通り配線されているか確認して下さい。

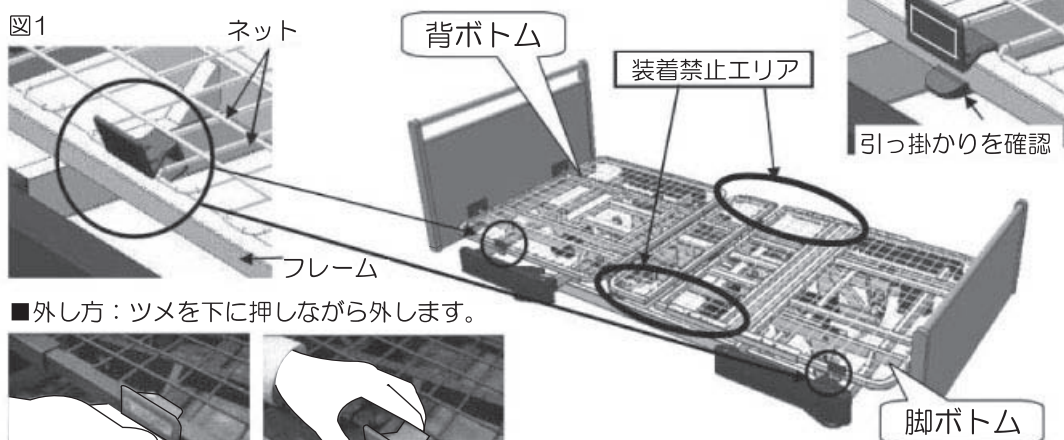
マットレスストッパーの取付け方

●マットレスストッパーの取付け方

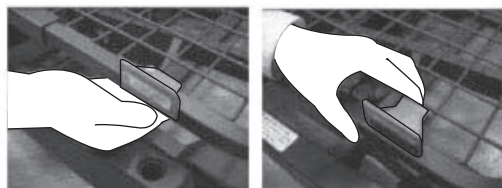
本製品はベッドに乗り降りする際のマットレスの横すれを防止する物です。

図の様に、乗り降りする側の中央部以外の部分に装着して下さい。

図1

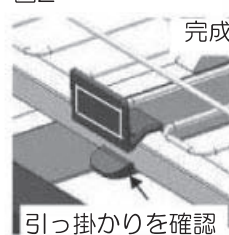


■外し方：ツメを下に押しながら外します。



※ネットとの指はさみ注意！

図2



①図1の様に、ネットの間にマットレスストッパーを入れて、フレームにはめます。

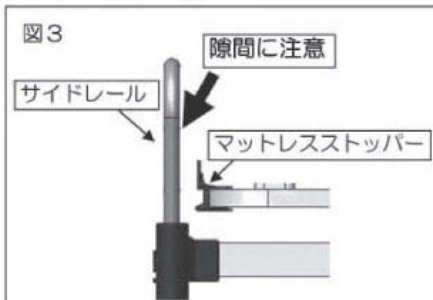
②図2の様に、マットレスストッパーの奥まで、確実にフレームに取付けて下さい。



警告

- ①上記装着禁止エリアには装着しないでください。マットレスストッパーは、乗り降りする中央部に装着すると、座った場合などお尻や大腿部を傷つける事があります。
- ②サイドレールやベッド用グリップ側にも取付けないでください。
- ③万一、取付ける必要がある場合、ベッドの背上げ・膝上げ動作を行う際に、図3の様に本品とレールの間の隙間が狭くなり指挟みを起こす事がありますのでご注意ください。

図3



背上げのみ⇄背ひざ連動の切り替え方法

背ひざ連結バーの説明 (PZB-M1RJB,M1RJB/M,M1SJB,M1RJB-HH,M1RJB/M-MH,M1SJB-HH、
PZB-M2RJ,M2RJ/M,M2SJ,M2RJ-HH,M2RJ/M-MH,M2SJ-HH)

背ひざ連結バー使用の目的

次の操作を行うことにより、背ひざ連動⇄背単独の切り替えを行うことができます。初期設定は背ひざ連動です。
(※背単独の切り替えを行うと、ライジングモーションは行えません)
(※背単独の場合、動きだすまでに時間がかかります。)

背ひざ連動→背単独への切り替え

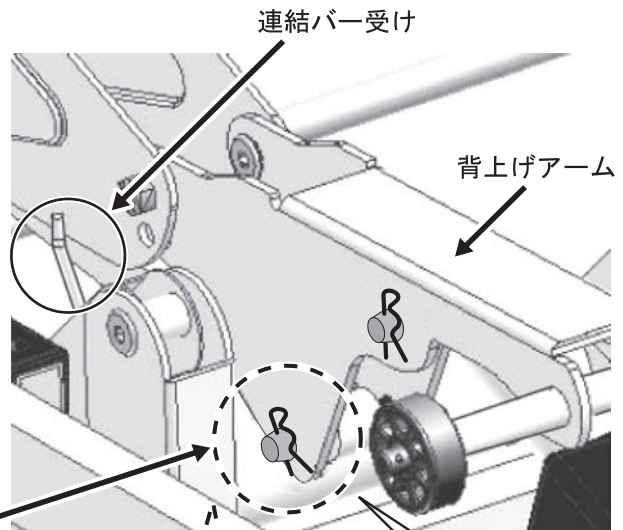
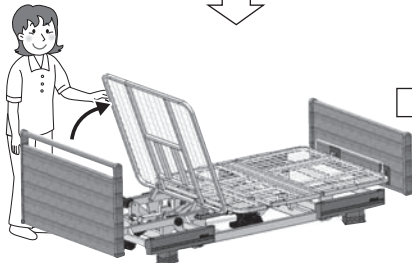
①手元スイッチを使って背ボトムと脚ボトムを最後まで下げて下さい。

②電源コードを抜いて下さい。

③手で背ボトムを上げて下さい。

④

注
背ボトムを90度以上、動かさないで下さい。
ローラーが外れたり、ローラーガイドが変形する事があります。

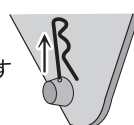


④割りピンを抜いて、金色のピンを抜いて下さい。
(外した“連結バー”は連結バー受けで支えます)

⑤抜いたピンは“連結バー”の穴に挿入して、なくさないようにして下さい。

⑥電源コードを挿して、背のみが動くようになったか確認して下さい。

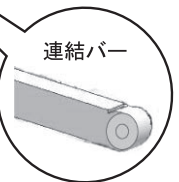
④-1
割りピンを
金色のピン
から抜きます



④-2
金色のピン
を抜きます



連結バー



背単独→背ひざ連動への切り替え

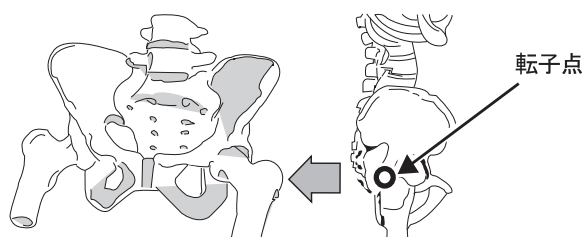
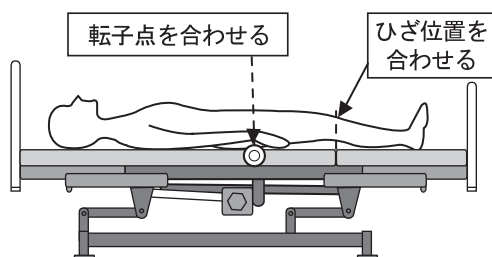
①上記「背ひざ連動→背単独への切り替え」①～③を参照して下さい。

②上記④で外した“連結バー”と“背上げアーム”の穴を合わせ、“金色のピン”と“割りピン”で取り付けて下さい。

③電源コードを挿して、背とひざが一緒に動く様になったか確認して下さい。

正しい姿勢で御使用していただくために

ベッドの側面に◎シールが貼ってあります。これは正しい位置に寝ていただく為の印です。転子点をこの印に合わせてご利用ください。27ページをご参照下さい。



手元スイッチの使い方

使用上の注意

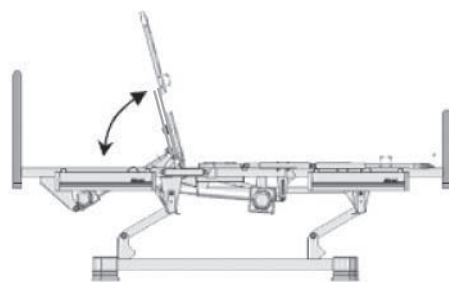
- ・ベッドの下にお子様やペット、物がないですか？
- ・フットボードに当たるものは、ボードから7cm以上離れていますか？
- ・「動かすよ」と、一声かけて使いましょう。

- ベッドの背ボトムの角度やベッド全体の高さを手元スイッチで無段階に調節できます。手元スイッチのボタンを押すと作動し、ボタンを離すとその位置で停止します。使いやすい位置まで作動してベッドをお使い下さい。

PZB-M2RJ・PZB-M2RJ/M・PZB-M2SJ・
PZB-M2RJ-HH・PZB-M2RJ/M-MH・PZB-M2SJ-HH

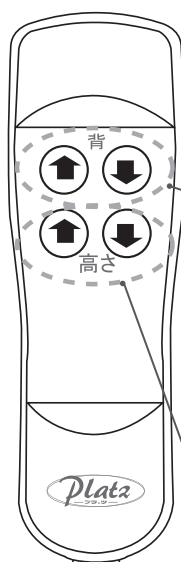
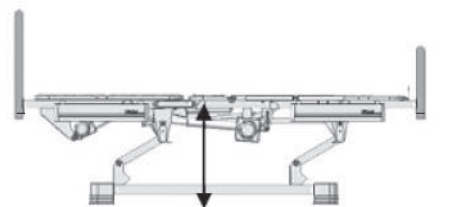
背ボタン

背ボトムの角度を約70°・
ひざ角度を14°まで無段階
に調整できます。
※ライジングモーションに
ついてはP27をご参照下さい。



高さボタン

床面高さを25～59cm
まで無段階に調節できます。



※仕様変更により、イラストと仕様が異なる場合があります



警告



ベッドを一定の期間使用しない場合や、介護者が長時間ベッドから離れる場合は電源プラグを抜いて下さい。
誤操作による事故の恐れがあります。



注意



操作は必ずベッドに寝た状態で行って下さい。
ベッドに立った状態や座った状態での操作はケガをする恐れがあり危険です。



2つ以上のボタンを同時に押さないで下さい。
手元スイッチやモーターの故障の原因になります。

手元スイッチの使い方

PZB-M3RJ・PZB-M3RJ/M・PZB-M3SJ・
PZB-M3RJ-HH・PZB-M3RJ/M-MH・PZB-M3SJ-HH

背ボタン

背ボトムの角度を約70°まで無段階に調節できます。

足ボタン

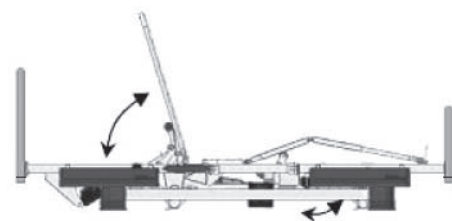
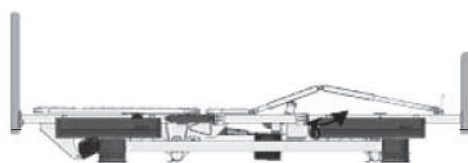
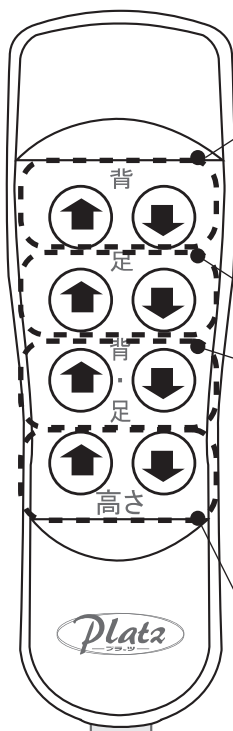
ひざボトムの角度を約17°まで無段階に調節できます。

背足ボタン

背ボトム・ひざボトムの角度を同時に調節できます。

高さボタン

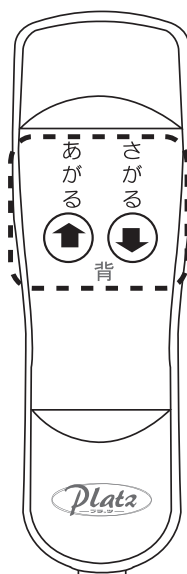
床面高さを25～59cmまで無段階に調節できます。



PZB-M1RJB・PZB-M1RJB/M・
PZB-M1SJB・PZB-M1RJB-HH・
PZB-M1RJB/M-MH・PZB-M1SJB-HH

背・ひざ 高さボタン

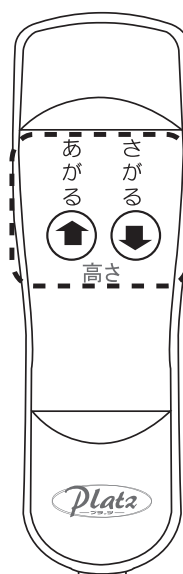
背上げ角度を最大70°、ひざ上げ角度最大14°まで無段階に調節できます。



PZB-M1RJH・PZB-M1RJH/M・
PZB-M1SJH・PZB-M1RJH-HH・
PZB-M1RJH/M-MH・PZB-M1SJH-HH

高さボタン

床面高さを25～59cmまで無段階に調節できます。



※仕様変更により、イラストと仕様が異なる場合があります

ライジングモーションについて



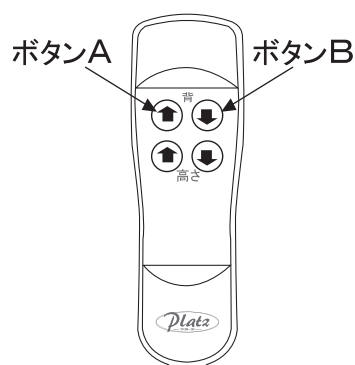
警告



ベッドを一定の期間使用しない場合や、介護者が長時間ベッドから離れる場合は電源プラグを抜いて下さい。
誤操作による事故の恐れがあります。

ライジングモーションの説明（PZB-M1RJB・M1RJB/M・M1SJB・M1RJB-HH・M1RJB/M-MH・M1SJB-HH、
PZB-M2RJ・M2RJ/M・M2SJ・M2RJ-HH・M2RJ/M-MH・M2SJ-HH）

ライジングモーションの目的：どの角度においても背とひざの角度は90度以上の為、腹部圧迫を軽減します。
※特別なリクライニング操作で背上げ時のお尻のズレを防止します。



背を上げる場合

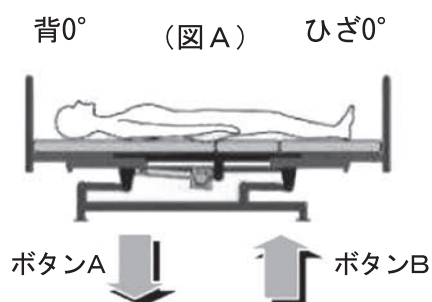
ボタンAを押し続けることにより

- ①ひざが上がりはじめます。（図B）
- ②次に背が上がります。（図C）
- ③一定の角度になるまで、背が上がり、ひざが下がります。（図D）
- ④ひざが水平になります。（図E）

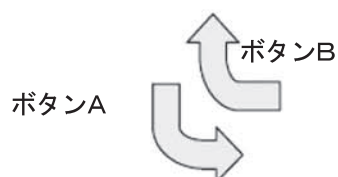
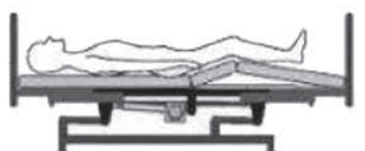
背を下げる場合

ボタンBを押し続けることにより

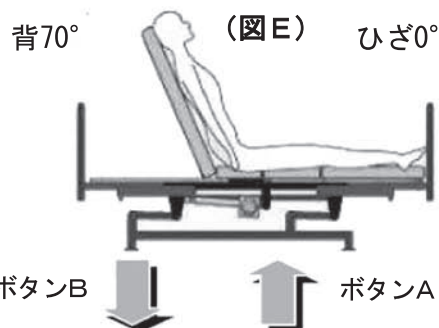
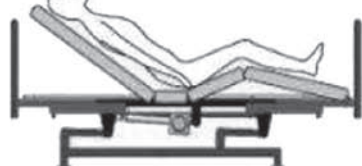
- ①背が下がりはじめ、次にひざが上がり始めます。（図D）
- ②一定の角度になるまで背が下がりひざが上がりします。（図C）
- ③背とひざが下がり、先に背が水平になります。（図B）
- ④ひざが水平になります。（図A）



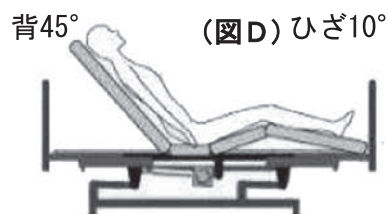
背0°（図B） ひざ6°



背20°~25°（図C） ひざ14°



背70°（図E） ひざ0°



背45°（図D） ひざ10°

フィッティングバーの設定

フィッティングの説明 (PZB-M1RJB, M1RJB/M, M1SJB, M1RJB-HH, M1RJB/M-MH, M1SJB-HH、
PZB-M2RJ, M2RJ/M, M2SJ, M2RJ-HH, M2RJ/M-MH, M2SJ-HH、
PZB-M3RJ, M3RJ/M, M3SJ, M3RJ-HH, M3RJ/M-MH, M3SJ-HH)

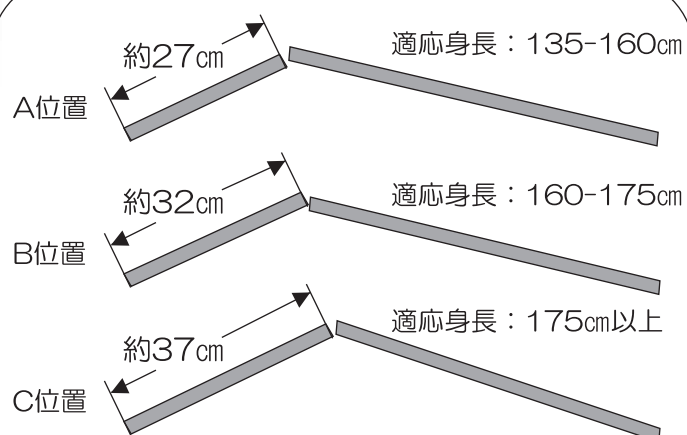
フィッティングの目的：利用者のひざの位置に合わせて、脚ボトムを3段階に調節することができます。



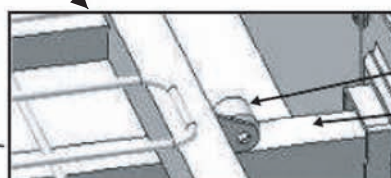
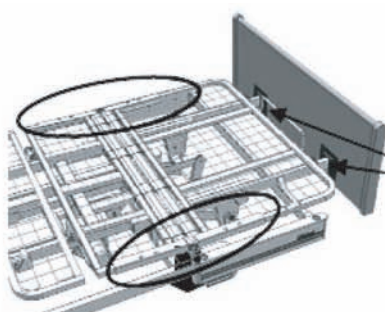
フィッティングの調節方法

- ①左右のフィッティングバーのピンそれぞれ4本を上にはずします。
- ②A位置、B位置、C位置のいずれかを選びフィッティングバーをスライドさせて穴位置を合わせます。
- ③左右それぞれ4箇所ピンを挿入します。

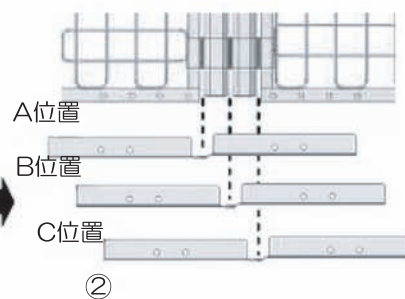
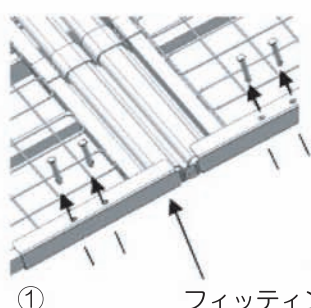
※フィッティングバーの切り替え後は下図のローラーがパイプの上に確実に乗っていることを確認して下さい。



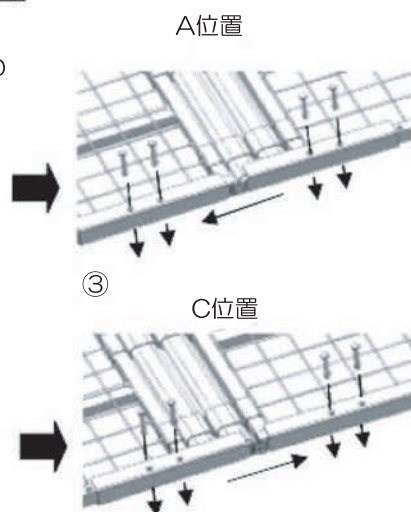
※初期位置はB位置に合わせています。



フィッティングバーの関節部が下図の位置に合います

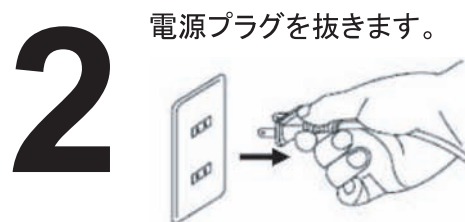
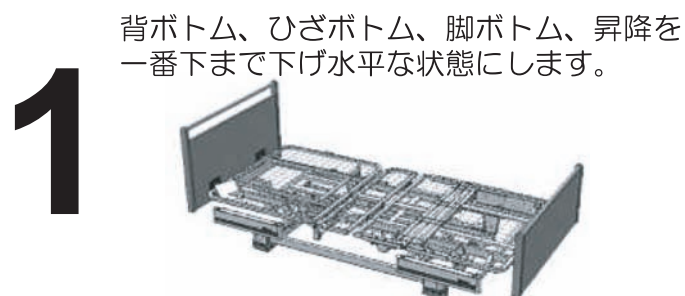


フィッティングバーの関節部

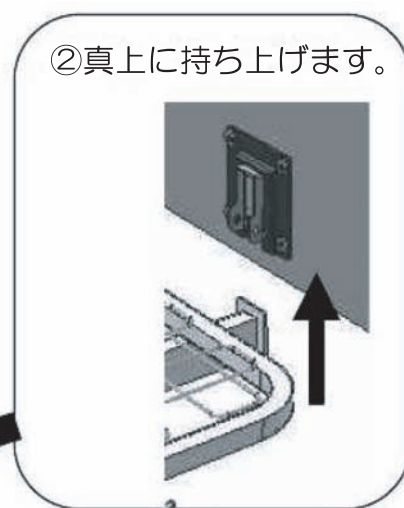
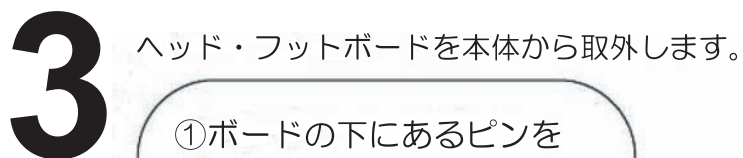


機器が破損するおそれがありますので、必ず左右同じ位置に合わせて下さい。

ベッドの分解方法

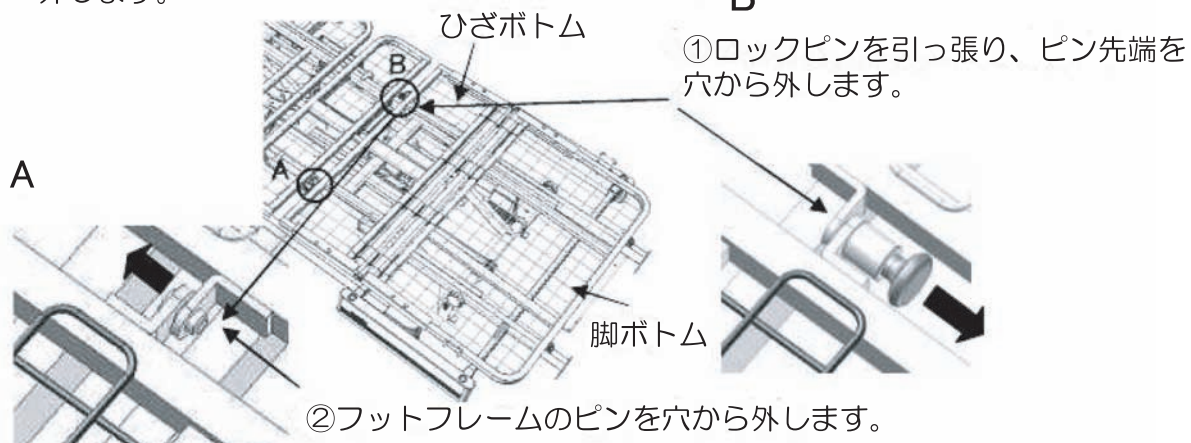
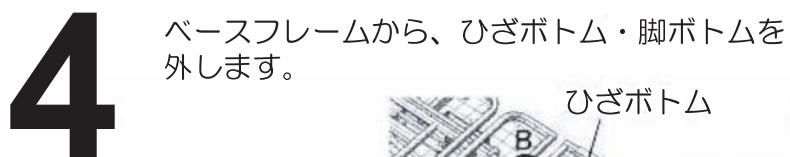


必ず電源プラグの樹脂部分をお持ちなり、コンセントから抜いて下さい。コードを引っ張ると、断線の原因になります。



ヘッドボード

フットボード



ベッドの分解方法

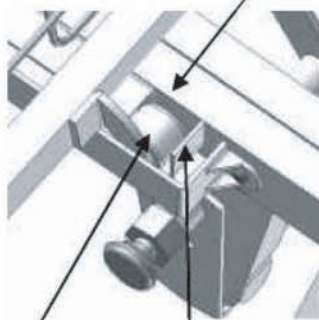
5

背ボトムを外します。

②

A、B

背ボトムのローラーを
ヘッドフレームのガイドから
抜きます。



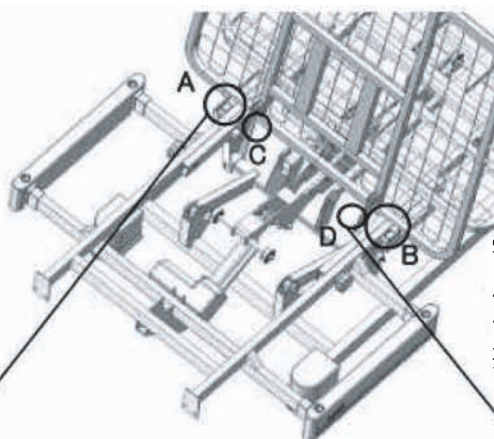
ローラー

ガイド

①

C、D

割りピンを抜いて、ピンから
バックオフバーを外します。
外した割りピンは元の穴に
挿し込んで下さい。



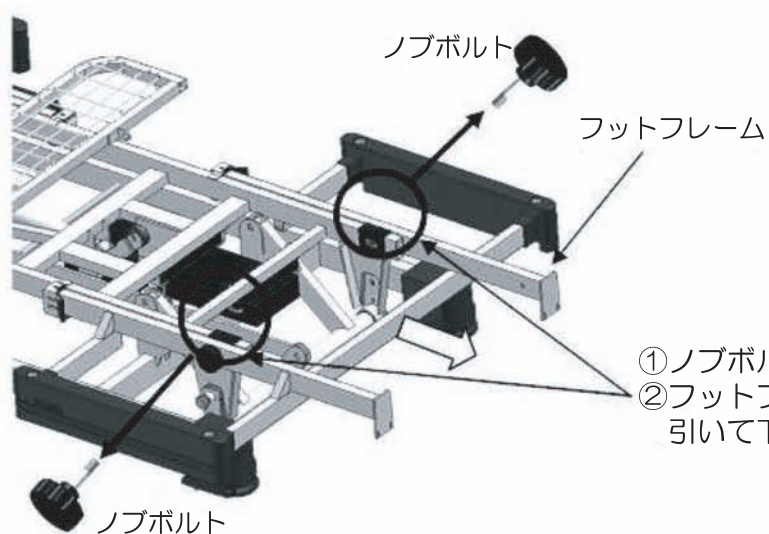
バックオフバー

割りピン

ピン

6

フットフレームを外します。



ノブボルト

フットフレーム

ノブボルト

- ①ノブボルトを外します。
- ②フットフレームを水平に
引いて下さい。

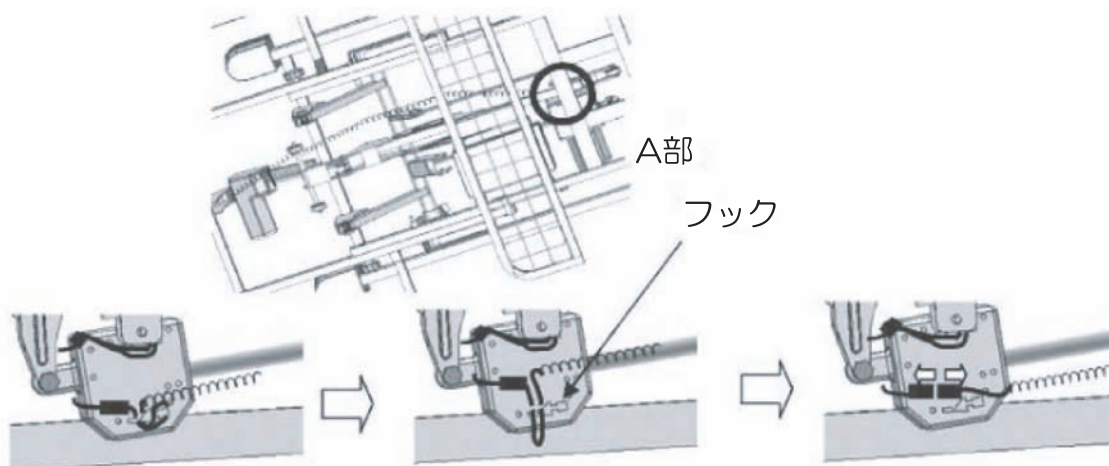
ベッドの分解方法

7

PZB-M2(R・S) J シリーズのみ

※PZB-M1(R・S)JHシリーズは9に進んで下さい

A部のモーター側面のコードを取り外します。



①コードをフックから外します。

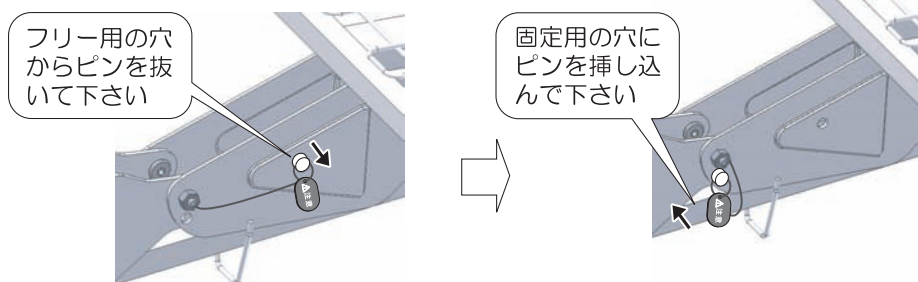
②コード先端のプラグを外します。

8

※PZB-M1(R・S)JHシリーズには必要ありません

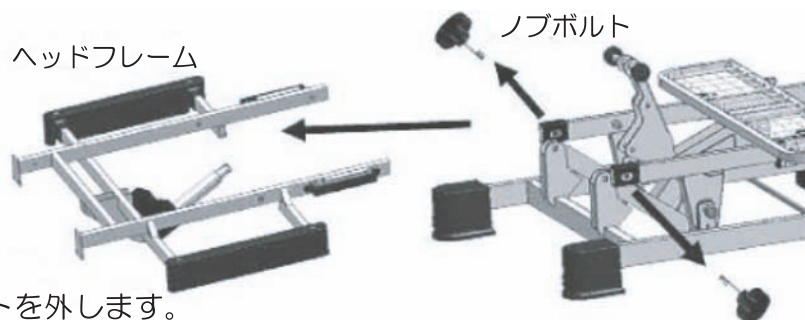
センターフレームからヘッドフレームを取り外して下さい。

- ①センターフレームのローラー部のピンはフリー用に挿入されています。
- ②ピンを固定用の穴に差し替えて下さい。



9

ノブボルトを外して、ヘッドフレームを水平に引いて下さい。



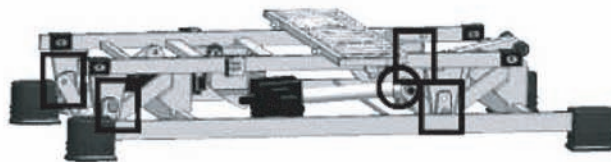
- ①ノブボルトを外します。
- ②ヘッドフレームを水平に引いて下さい。

ベッドの分解方法

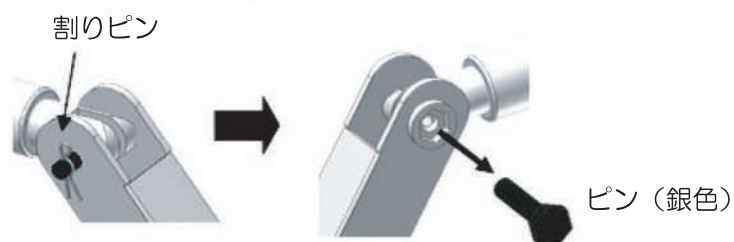
10

PZB-M1(R・S)JB
シリーズには
①は必要ありません

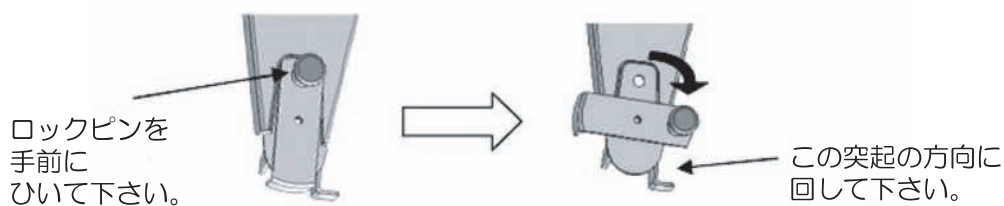
下記の要領でベースフレームを取り外して下さい。



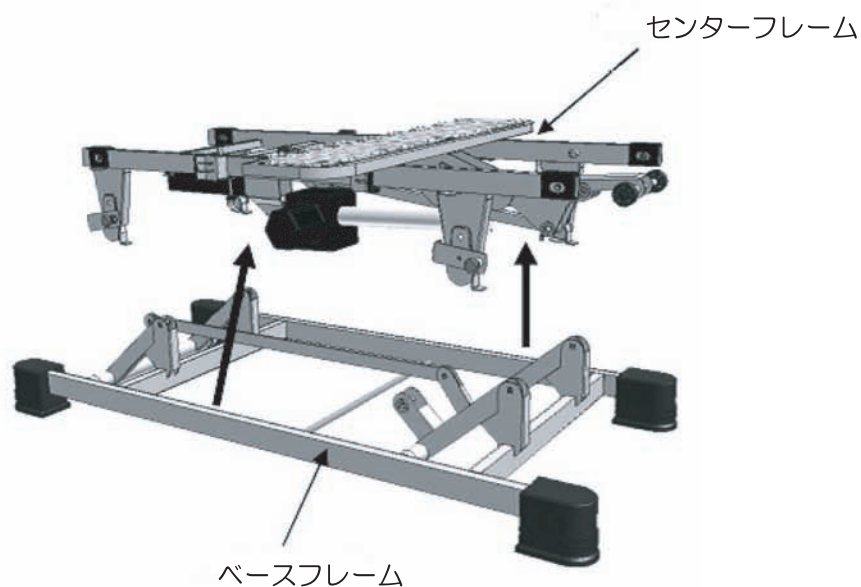
①昇降モーターの先端の割りピンを外して、ピン（銀色）を抜いて下さい。



②センターフレームのロックピンを引いて回転させて下さい。（4箇所）



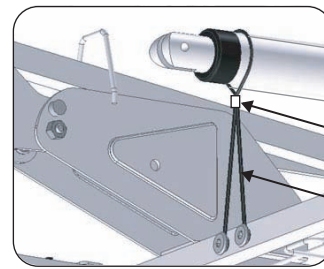
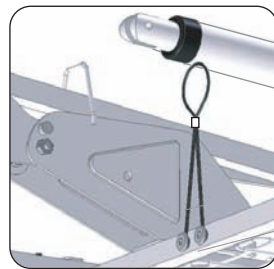
③センターフレームを取り外して下さい。



ベッドの分解方法

11

ゴムの輪の中にモーターの先端を通します。



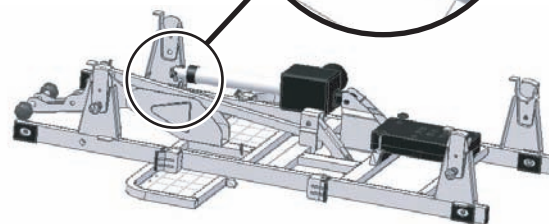
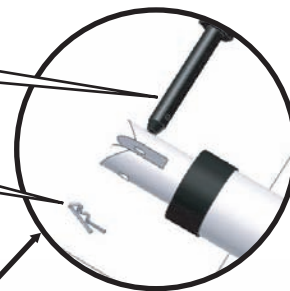
インシュロック

ゴム

10で外したピンと割りピンを使用して、モーターと連結バーをとめて下さい。

①ピン（銀色）を
挿して下さい

②割りピンで
とめて下さい

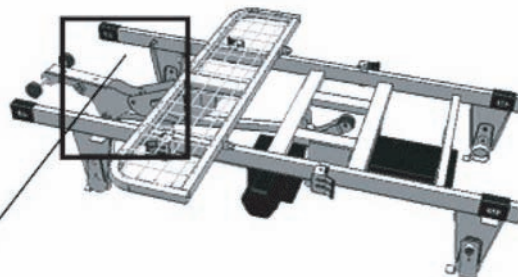
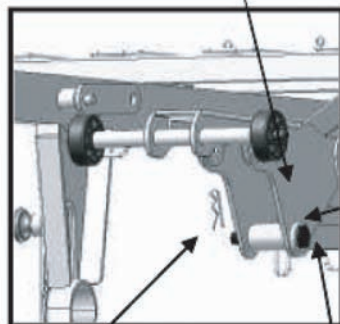


背上げ1モーターベッド
PZB-M1(R・S) JBシリーズ
には必要ありません

12

連結バーを外している場合は、下図の様に連結バーを穴にはめてピン（金色）でとめて下さい

プレート



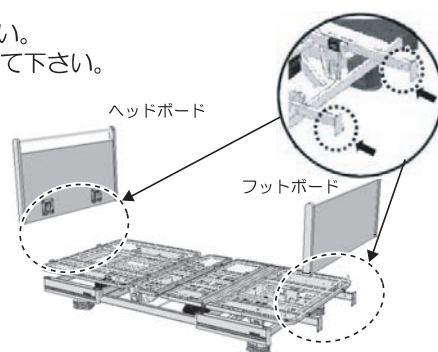
①連結バーの穴とプレートの穴を合わせて、
ピン（金色）を挿して下さい。

連結バー

②割りピンでとめて下さい。

移動について

- 組み立てが終わった状態で移動する場合、下図の位置を持って移動して下さい。
- ベッドは約 100kg あります。腰や背中を痛めないよう必ず 2 人以上で行って下さい。
- ヘッドボード、サイドレール、マットレスなどを外して下さい。
- 電源プラグを抜き、手元スイッチケーブルに注意して下さい。
- 人が乗った状態で、移動を行わないで下さい。
- 移動する前にロックピンが確実にハマっている事を、必ず確認して下さい。
(13 ページ 2-4 参照) ※怪我、事故の原因になる事があります。
- ヘッドボード・フットボードを外して必ず 2 人以上で行って下さい。(28 ページ参照)
- 分解して移動する場合は、設置した販売店へご相談下さい。
※組み立て方法を間違えると事故や怪我の原因となり、非常に危険です。

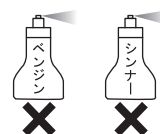


器具のお手入れ・点検

●ベッド本体について

○お手入れ

- 本体のお手入れは、乾いた柔らかい布で拭いて下さい。
※著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用して下さい。
- ※製品に水を散らしたり、ベンジン・シンナー・オイル類・粉末洗剤などで磨いたり、殺虫剤を撒いたりしないで下さい。故障・ひび割れ・サビや感電、火災の危険があります。
- ベッドの下を掃除される際は電源プラグを抜いて下さい。
- ベッドを踏み台代わりに使用しないで下さい。
- ベッドの下は非常に埃が溜まりやすくなっています。こまめにお掃除して下さい。
- 電動モーター周辺の駆動部は、時々ハケやブラシで掃除して下さい。
またその時モーター、手元スイッチコードが接続されているかご確認ください。
- コンセントの根元を樹脂で覆っており発火予防をしておりますが埃がたまらないようこまめにお掃除して下さい。



○点検

- 点検前に電源プラグを抜いて下さい。
- 各部分のビス・ボルト・ナットが緩んでいませんか？
- ボードやサイドパネルにガタツキがありませんか？
- 電動モーター、手元スイッチコードが正常に装着されていますか？
- コード類にキズ等がありませんか？
- 誤作動、異音がありませんか？

●マットレスについて

- マットレスを清潔にご使用いただくために
 - ・定期的に通気や換気を行って下さい。
 - ・定期的に日陰干しを行って下さい。
 - ・定期的にマットレス全面に掃除機をかけ、チリやホコリを吸引して下さい。
- ※日陰干し⇒掃除機でのマット全面の吸引⇒日陰干しを行っていただくと、より効果的です。

故障かな…！？

製品が動作しないときは、下記項目を確認して下さい。

症状	確認	処置
製品が動作しない	電源プラグが抜けていませんか？	電源プラグをコンセント (AC100V) に差し込んで下さい。
	延長コードのプラグが抜けていませんか？	延長コードのプラグが抜けていないか、延長コードに故障がないかを必ず確認して下さい。
	電源プラグが破損していませんか？	販売店または弊社にご相談下さい。
	手元スイッチ、またはモーターのコードが抜けていませんか？	手元スイッチ、およびモーターのコネクタの差込口に差し込んで下さい。
	ご家庭のブレーカーがとんでいませんか？	ブレーカーを確認して下さい。

保証とアフターサービス

よくお読み下さい

- サービスを依頼される前に、取扱説明書の33ページ「故障かな…？」の項目にしたがって確認して下さい。
それでも直らない場合は、お買い上げの販売店か下記フリーアクセスまでご連絡下さい。



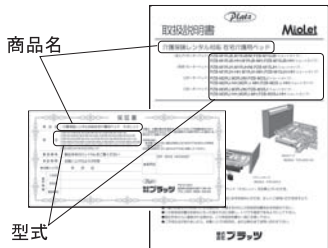
0120-77-3433

フリーアクセス
携帯・PHS・OK

《平日 午前9時～午後5時》
(土日祝祭日・夏季休業日・年末年始休業除く)

ご連絡いただきたい内容

- ・商品名及び型式
- ・故障内容(出来るだけ詳しく)
- ・ご住所/お名前/お電話番号
- ・お買い上げ日
- ・お買い上げの販売店



商品名

型式

保証書(別添付)

お買い上げ日/販売店/お名前を必ず記入し、保証書の内容をよくお読みになって大切に保管して下さい。(※保証書の再発行はいたしません。)

保証期間について

保証期間はお買い上げ日から3年間です。
保証期間内は、保証書の記載内容に基づき無料で修理いたします。但し、保証期間内でも有料修理になる場合がありますので、詳しくは保証書の内容をご覧ください。

保証期間を 過ぎている場合

修理及び部品交換にて対応可能であれば、有料にて修理いたします。

修理代について

修理代は、部品料、出張基本料、技術料で構成されます。
 ●部品料…修理で使用した部品代です。
 ●基本出張料…お客様のご依頼により、技術者がお届け先まで出張する際に発生する費用です。
 ●技術料…製品の診断・故障箇所の修理等の作業にかかる費用です。

保証部品の 保有期間

弊社では、このベッドの補修部品を本体製品の製造打ち切り後6年間の保有・供給といたします。

耐用年数

弊社では法定耐用年数を以下の通りといたします。
 ●ベッド(折りたたみを含まない)：6年
 ●周辺機器(マットレスを含まない)：6年

※注：お買い上げ時の送り状等を保管いただくことをおすすめします

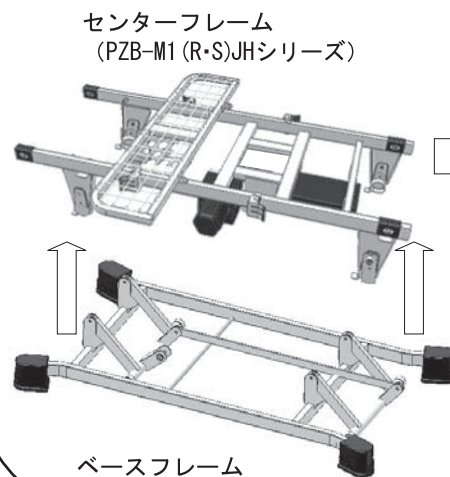
プラッツネットワーク

■本社	〒816-0921	福岡県大野城市仲畑2丁目8-39	TEL:092-584-3434
■関東支店	〒105-0014	東京都港区芝2丁目16-9	TEL:03-5427-8033
■東海支店	〒465-0093	愛知県名古屋市名東区一社3丁目108	TEL:052-704-2700
■関西支店	〒541-0046	大阪府大阪市中央区平野町4-6-4 2F	TEL:06-6233-2105
■九州支店	〒816-0921	福岡県大野城市仲畑2丁目8-39(本社内)	TEL:092-584-3433
●東北営業所	〒984-0038	宮城県仙台市若林区伊在字東通29	TEL 022-781-7072

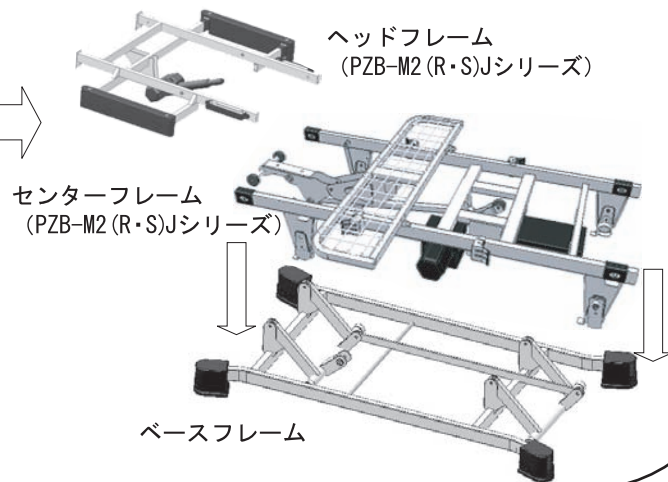
1モーターから2モーターへの変更

PZB-M1(R・S)JHから 交換が必要なもの 【2/5】センターフレーム
PZB-M2(R・S)Jへの変更 【3/5】ヘッドフレーム

P28～P32「ベッドの分解方法」を参照してベースフレーム(昇降部)からセンターフレーム(PZB-M1(R・S)JHシリーズ)を取り外して下さい。

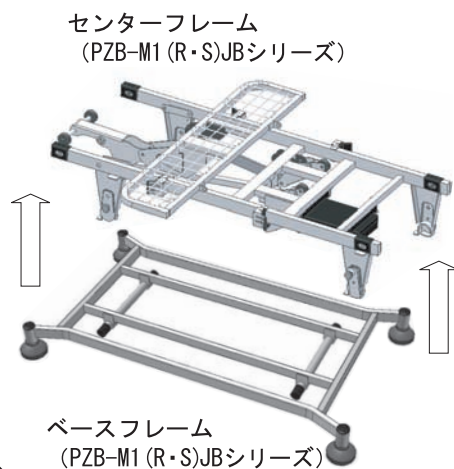


P11～P13「ベースフレームとセンターフレームの組立」を参照してセンターフレーム(PZB-M2(R・S)Jシリーズ)とベースフレームを組み立てます。
P14～P21「ヘッド・フットフレームの取り付け」を参照してセンターフレーム(PZB-M2(R・S)Jシリーズ)にヘッド・フットフレームを取り付けます。

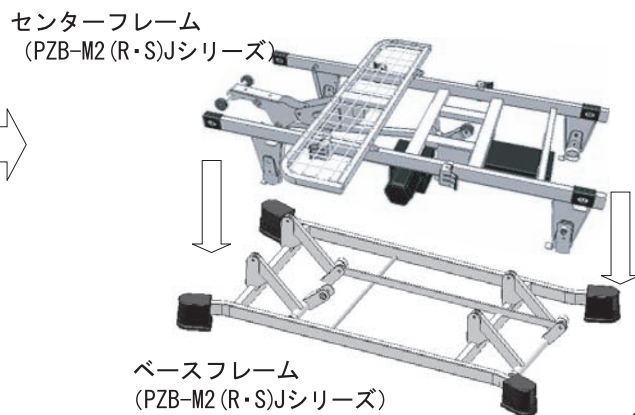


PZB-M1(R・S)JBから 交換が必要なもの 【1/5】ベースフレーム
PZB-M2(R・S)Jへの変更 【2/5】センターフレーム

P28～P32「ベッドの分解方法」を参照してベースフレームとセンターフレーム(PZB-M1(R・S)JBシリーズ)を取り外して下さい。



P11～P13「ベースフレームとセンターフレームの組立」を参照してセンターフレーム(PZB-M2(R・S)Jシリーズ)とベースフレームを組み立てます。
P14～P21「ヘッド・フットフレームの取り付け」を参照してセンターフレーム(PZB-M2(R・S)Jシリーズ)にヘッド・フットフレームを取り付けます。

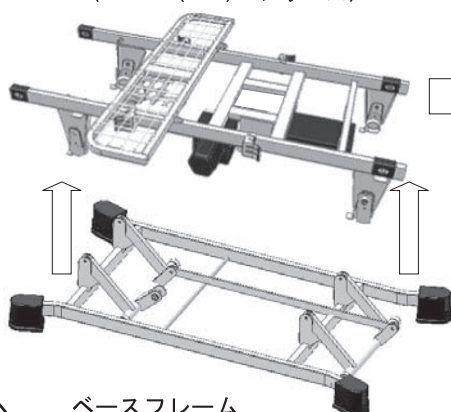


1モーターから3モーターへの変更

PZB-M1(R・S)JHから 交換が必要なもの 【2/5】センターフレーム PZB-M3(R・S)Jへの変更 【3/5】ヘッドフレーム

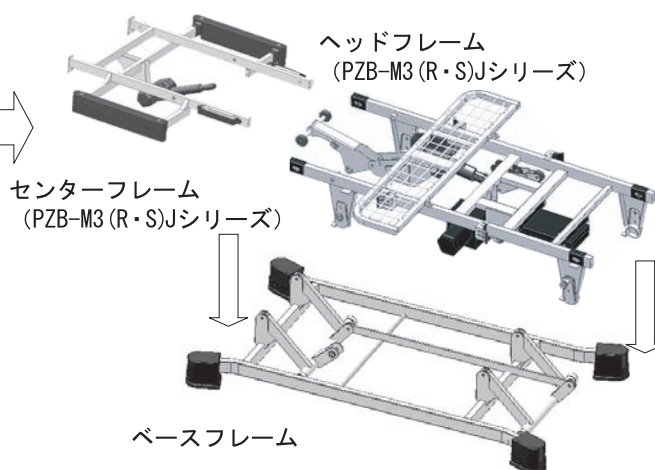
P28～P32「ベッドの分解方法」を参照してベースフレーム(昇降部)からセンターフレーム(PZB-M1(R・S)JHシリーズ)を取り外して下さい。

センターフレーム
(PZB-M1(R・S)JHシリーズ)



ベースフレーム

P11～P13「ベースフレームとセンターフレームの組立」を参照してセンターフレーム(PZB-M3(R・S)Jシリーズ)とベースフレームを組み立てます。
P14～P21「ヘッド・フットフレームの取り付け」を参照してセンターフレーム(PZB-M3(R・S)Jシリーズ)にヘッド・フットフレームを取り付けます。

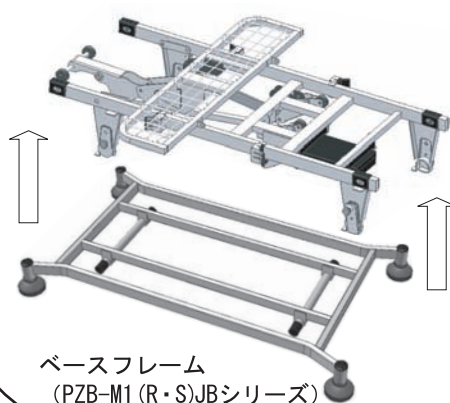


ベースフレーム

PZB-M1(R・S)JBから 交換が必要なもの 【1/5】ベースフレーム PZB-M3(R・S)Jへの変更 【2/5】センターフレーム

P28～P32「ベッドの分解方法」を参照してベースフレームとセンターフレーム(PZB-M1(R・S)JBシリーズ)を取り外して下さい。

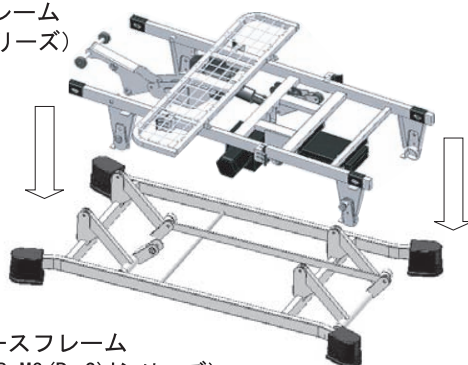
センターフレーム
(PZB-M1(R・S)JBシリーズ)



ベースフレーム
(PZB-M1(R・S)JBシリーズ)

P11～P13「ベースフレームとセンターフレームの組立」を参照してセンターフレーム(PZB-M3(R・S)Jシリーズ)とベースフレームを組み立てます。
P14～P21「ヘッド・フットフレームの取り付け」を参照してセンターフレーム(PZB-M3(R・S)Jシリーズ)にヘッド・フットフレームを取り付けます。

センターフレーム
(PZB-M3(R・S)Jシリーズ)

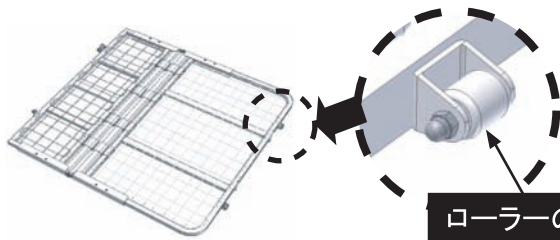


ベースフレーム
(PZB-M3(R・S)Jシリーズ)

共通

P38「2モーターから3モーターへの変更」を参照して、センターフレームに取り付けているトランスにベースフレームのモーターコードを接続します。

2モーターから3モーターへの変更



○2モーターから3モーターへの変更について○
脚ボトムに付いているローラーの色をご確認ください。
ローラーの色が「黒」の場合、新たに「白」ローラーを
付属した脚ボトム（脚ボトムのみ）の購入が必要です。

ローラーの色をご確認ください

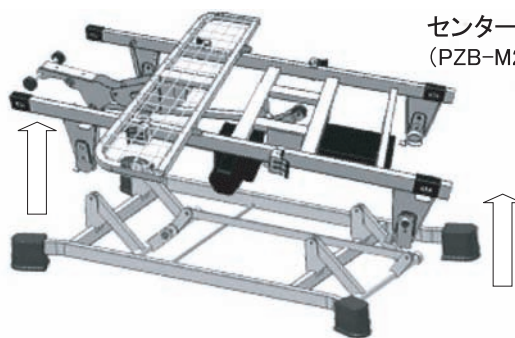
PZB-M2(R・S)Jから PZB-M3(R・S)Jへの変更

交換が必要なもの【2/5】センターフレーム

P28～P32「ベッドの分解方法」を
参照してベースフレーム（昇降部）から
センターフレーム（PZB-M2(R・S)J
シリーズ）を取り外して下さい。

ベースフレーム

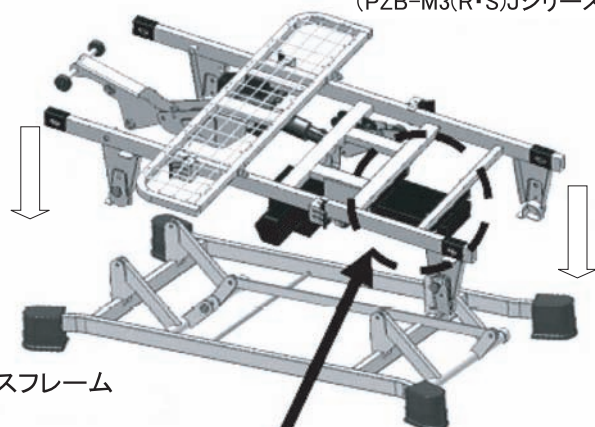
センターフレーム
(PZB-M2(R・S)Jシリーズ)



P11～P13「ベースフレームとセンターフ
レームの組立」を参照して
センターフレーム（PZB-M3(R・S)Jシ
リーズ）とベースフレームを組み立てます。

センターフレーム
(PZB-M3(R・S)Jシリーズ)

ベースフレーム

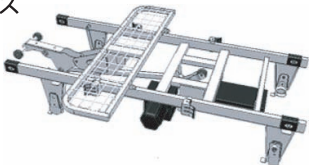
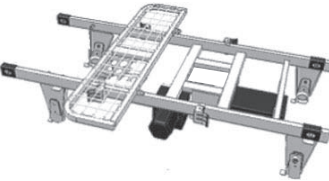
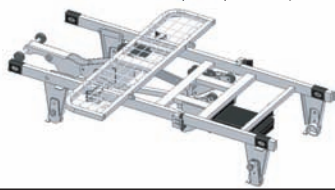
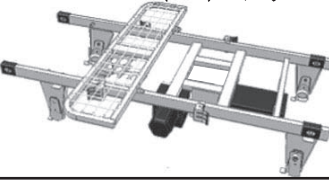
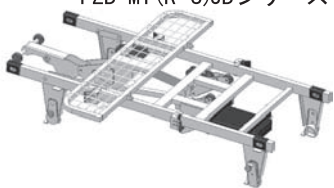


P14・P15を参照してヘッドフレームを組み
立てます。ヘッドフレームのモーターコード
を図の位置に差し込みます。

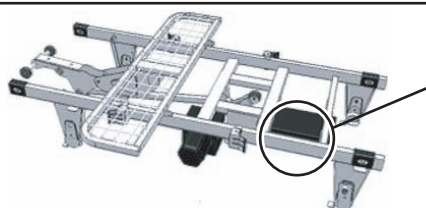
配線については
P16をご参照下さい。

コードの根元を持ち、分配器側面の脚モ
ーターコードの隣差込口にさしこみます。

3モーターから2モーター・1モーターへの変更 2モーターから1モーターへの変更

変更前	変更後	交換パーツ	
PZB-M3(R・S)J (3モーター)	PZB-M2(R・S)J (2モーター)	【2/5】 センターフレーム ・ PZB-M2 (R・S)Jシリーズ 	
PZB-M3(R・S)J (3モーター)	PZB-M1(R・S)JH (昇降1モーター)	【2/5】 センターフレーム ・ PZB-M1 (R・S)JHシリーズ 	【3/5】 ヘッドフレーム ・ PZB-M1 (R・S)JHシリーズ 
PZB-M3(R・S)J (3モーター)	PZB-M1(R・S)JB (背上げ1モーター)	【1/5】 ベースフレーム ・ PZB-M1 (R・S)JBシリーズ 	【2/5】 センターフレーム ・ PZB-M1 (R・S)JBシリーズ 
PZB-M2(R・S)J (2モーター)	PZB-M1(R・S)JH (昇降1モーター)	【2/5】 センターフレーム ・ PZB-M1 (R・S)JHシリーズ 	【3/5】 センターフレーム ・ PZB-M1 (R・S)JHシリーズ 
PZB-M2(R・S)J (2モーター)	PZB-M1(R・S)JB (背上げ1モーター)	【1/5】 ベースフレーム ・ PZB-M1 (R・S)JBシリーズ 	【2/5】 センターフレーム ・ PZB-M1 (R・S)JBシリーズ 

交換方法はP35～P37を参照して下さい。



この部分の内側に商品名が
記載されたシールが
貼ってありますので
ご確認下さい

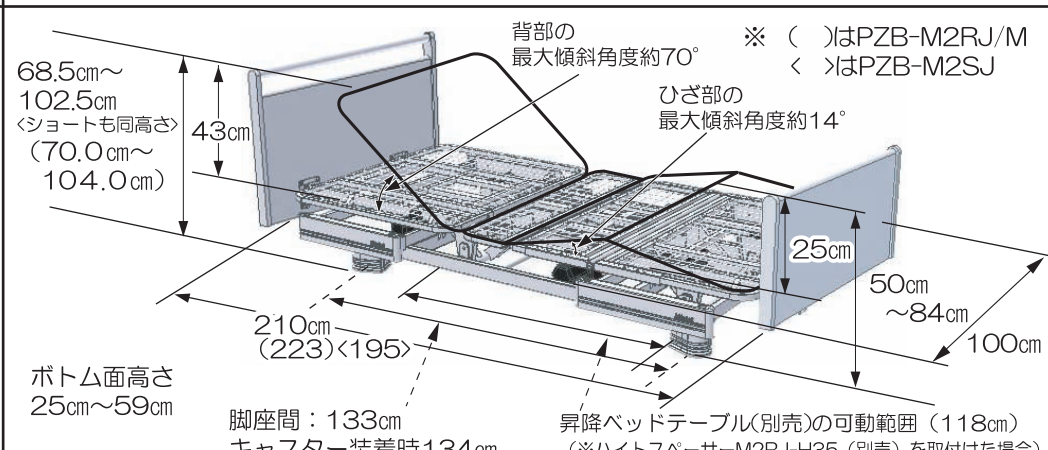
商品の仕様

型 式	PZB-M1RJB・PZB-M1RJB/M・PZB-M1SJB・ PZB-M1RJB-HH・PZB-M1RJB/M-MH・PZB-M1SJB-HH	
商品名	背上げ1 モーターベッド	
ベッド寸法	※ ()はPZB-M1RJB/M < >はPZB-M1SJB 背部の最大傾斜角度約70° ひざ部の最大傾斜角度約14° ベッド寸法 72.5/76/79.5/83cm (74/77.5/81/84.5cm) 4.3cm 210cm (223)<195> 29/32.5/36/39.5cm 脚座間: 140.5cm キャスター装着時140.5cm 昇降ベッドテーブル(別売)の可動範囲 (130cm)	
商品質量	(1/5): ベースフレーム 15.0kg (2/5): センターフレーム 18.5kg (3/5): ヘッドフレーム、フットフレーム 19.0kg ショート(3/5): ヘッドフレーム、フットフレーム 19.0kg (4/5): 背ボトム、ひざボトム・脚ボトム 18.5kg ショート(4/5): 背ボトム、ひざボトム・脚ボトム 18.5kg (5/5): ヘッドボード、フットボード 13.5kg (PZB-M1RJB) (5/5): 宮ヘッドボード、フットボード 19.0kg (PZB-M1RJB/M) ショート(5/5): ヘッドボード、フットボード 13.0kg (PZB-M1SJB) (5/5): ヘッドボード、ヘッドボード 16.5kg (PZB-M1RJB-HH) (5/5): 宮ヘッドボード、ヘッドボード 22.5kg (PZB-M1RJB/M-MH) ショート(5/5): ヘッドボード、ヘッドボード 15.0kg (PZB-M1SJB-HH)	商品質量合計 PZB-M1RJB:84.5kg PZB-M1RJB/M:90.0kg PZB-M1SJB:84.0kg PZB-M1RJB-HH:87.5kg PZB-M1RJB/M-MH:93.5kg PZB-M1SJB-HH:86.0kg
梱包サイズ 梱包質量	(1/5): 1600×950×200 21.0kg (2/5): 1300×920×270 26.0kg (3/5): 1065×970×260 22.5kg ショート (3/5): 1065×900×260 22.5kg (4/5): 940×930×120 22.5kg ショート (4/5): 905×930×120 22.5kg (5/5): 1035×625×190 17.0kg (PZB-M1RJB) (5/5): 1045×635×315 23.5kg (PZB-M1RJB/M) ショート(5/5): 960×615×180 16.0kg (PZB-M1SJB) (5/5): 1035×625×190 19.0kg (PZB-M1RJB-HH) (5/5): 1045×635×315 26.5kg (PZB-M1RJB/M-MH) ショート(5/5): 960×615×180 18.0kg (PZB-M1SJB-HH)	
材 質	本体ユニット: スチール、ABS樹脂 木部: プリント紙化粧板、天然木、PU塗装	
電動動作	無段階自在式 背上げ(背ひざ同時連動/背単独) 背上げ角度(0°～約70°)、ひざ上げ角度(0°～約14°)	
ボトム形状	通気性に優れたスチールメッシュ方式 ボトム形状は4ブロックに分けてあります	
定格電圧	AC100V、50/60Hz	
定格消費電力	70W	
最大使用者体重	120kg/最大使用荷重: 1700N	
原産国	本体: ベトナム	

商品の仕様

型 式	PZB-M1RJH・PZB-M1RJH/M・PZB-M1SJH・ PZB-M1RJH-HH・PZB-M1RJH/M-MH・PZB-M1SJH-HH	
商品名	昇降1 モーターベッド	
ベッド寸法	※ ()はPZB-M1RJH/M 〈 〉はPZB-M1SJH	
商品質量	(1/5): ベースフレーム 18.0kg (2/5): センターフレーム 19.0kg (3/5): ヘッドフレーム、フットフレーム 17.0kg ショート(3/5): ヘッドフレーム、フットフレーム 17.0kg (4/5): 背ボトム、ひざボトム・脚ボトム 18.5kg ショート(4/5): 背ボトム、ひざボトム・脚ボトム 18.5kg (5/5): ヘッドボード、フットボード 13.5kg (PZB-M1RJH) (5/5): 宮ヘッドボード、フットボード 19.0kg (PZB-M1RJH/M) ショート(5/5): ヘッドボード、フットボード 13.0kg (PZB-M1SJH) (5/5): ヘッドボード、ヘッドボード 16.5kg (PZB-M1RJH-HH) (5/5): 宮ヘッドボード、ヘッドボード 22.5kg (PZB-M1RJH/M-MH) ショート(5/5): ヘッドボード、ヘッドボード 15.0kg (PZB-M1SJH-HH)	商品質量合計 PZB-M1RJH:86.0kg PZB-M1RJH/M:91.5kg PZB-M1SJH:85.5kg PZB-M1RJH-HH:89.0kg PZB-M1RJH/M-MH:95.0kg PZB-M1SJH-HH:87.5kg
梱包サイズ 梱包質量	(1/5): 1510×890×250 24.5kg (2/5): 1300×920×270 26.0kg (3/5): 1065×970×260 20.5kg ショート (3/5): 1065×900×260 20.5kg (4/5): 940×930×120 22.5kg ショート (4/5): 905×930×120 22.5kg (5/5): 1035×625×190 17.0kg (PZB-M1RJH) (5/5): 1045×635×315 23.5kg (PZB-M1RJH/M) ショート(5/5): 960×615×180 16.0kg (PZB-M1SJH) (5/5): 1035×625×190 19.0kg (PZB-M1RJH-HH) (5/5): 1045×635×315 26.5kg (PZB-M1RJH/M-MH) ショート(5/5): 960×615×180 18.0kg (PZB-M1SJH-HH)	
材 質	本体ユニット: スチール、ABS樹脂 木部: プリント紙化粧板、天然木、PU塗装	
電動動作	無段階自在式 昇降 (床～ボトム面高さ: 25cm～59cm)	
ボトム形状	通気性に優れたスチールメッシュ方式 ボトム形状は4ブロックに分けてあります	
定格電圧	AC100V、50/60Hz	
定格消費電力	120W	
最大使用者体重	120kg/最大使用荷重: 1700N	
原産国	本体: ベトナム	

商品の仕様

型 式	PZB-M2RJ・PZB-M2RJ/M・PZB-M2SJ・ PZB-M2RJ-HH・PZB-M2RJ/M-MH・PZB-M2SJ-HH	
商品名	2モーターベッド	
ベッド寸法	 68.5cm～102.5cm <ショートも同高さ> (70.0cm～104.0cm) 43cm 210cm (223)<195> 底部面高さ 25cm～59cm 脚座間：133cm キャスター装着時134cm 昇降ベッドテーブル(別売)の可動範囲(118cm) (※ハイトスペーサー-M2RJ-H35(別売)を取付けた場合) 25cm 50cm ～84cm 100cm 背部の 最大傾斜角度約70° ※ ()はPZB-M2RJ/M < >はPZB-M2SJ ひざ部の 最大傾斜角度約14°	
商品質量	(1/5)：ベースフレーム 18.0kg (2/5)：センターフレーム 20.5kg (3/5)：ヘッドフレーム、フットフレーム 19.0kg ショート(3/5)：ヘッドフレーム、フットフレーム 19.0kg (4/5)：背ボトム、ひざボトム・脚ボトム 18.5kg ショート(4/5)：背ボトム、ひざボトム・脚ボトム 18.5kg (5/5)：ヘッドボード、フットボード 13.5kg (PZB-M2RJ) (5/5)：宮ヘッドボード、フットボード 19.0kg (PZB-M2RJ/M) ショート(5/5)：ヘッドボード、フットボード 13.0kg (PZB-M2SJ) (5/5)：ヘッドボード、ヘッドボード 16.5kg (PZB-M2RJ-HH) (5/5)：宮ヘッドボード、ヘッドボード 22.5kg (PZB-M2RJ/M-MH) ショート(5/5)：ヘッドボード、ヘッドボード 15.0kg (PZB-M2SJ-HH)	商品質量合計 PZB-M2RJ:89.5kg PZB-M2RJ/M:95.5kg PZB-M2SJ:89.0kg PZB-M2RJ-HH:92.5kg PZB-M2RJ/M-MH:98.5kg PZB-M2SJ-HH:91.0kg
梱包サイズ 梱包質量	(1/5)：1510×890×250 24.5kg (2/5)：1300×920×270 28.0kg (3/5)：1065×970×260 22.5kg ショート(3/5)：1065×900×260 22.5kg (4/5)：940×930×120 22.5kg ショート(4/5)：905×930×120 22.5kg (5/5)：1035×625×190 17.0kg (PZB-M2RJ) (5/5)：1045×635×315 23.5kg (PZB-M2RJ/M) ショート(5/5)：960×615×180 16.0kg (PZB-M2SJ) (5/5)：1035×625×190 19.0kg (PZB-M2RJ-HH) (5/5)：1045×635×315 26.5kg (PZB-M2RJ/M-MH) ショート(5/5)：960×615×180 18.0kg (PZB-M2SJ-HH)	
材 質	本体ユニット：スチール、ABS樹脂 木部：プリント紙化粧板、天然木、PU塗装	
電動動作	無段階自在式 背上げ（背ひざ同時連動/背単独）、背上げ角度（0°～約70°）、 ひざ上げ角度（0°～約14°）、昇降（床～ボトム面高さ：25cm～59cm）	
ボトム形状	通気性に優れたスチールメッシュ方式 ボトム形状は4ブロックに分けてあります	
定格電圧	AC100V、50/60Hz	
定格消費電力	120W	
最大使用者体重	120kg/最大使用荷重：1700N	
原産国	本体：ベトナム	

商品の仕様

型 式	PZB-M3RJ・PZB-M3RJ/M・PZB-M3SJ・ PZB-M3RJ-HH・PZB-M3RJ/M-MH・PZB-M3SJ-HH	
商品名	3モーターベッド	
ベッド寸法	68.5cm～102.5cm <ショートも同高さ> (70.0cm～104.0cm) 43cm 210cm (223)<195> 25cm ～59cm 脚座間：133cm キャスター装着時134cm 25cm 50cm ～84cm 100cm 昇降ベッドテーブル(別売)の可動範囲(118cm) (※ハイトスペーサーM2RJ-H35(別売)を取付けた場合) ※ ()はPZB-M3RJ/M < >はPZB-M3SJ 背部の 最大傾斜角度約70° ひざ部の 最大傾斜角度約17°	
商品質量	(1/5)：ベースフレーム 18.0kg (2/5)：センターフレーム 22.5kg (3/5)：ヘッドフレーム、フットフレーム 19.0kg ショート(3/5)：ヘッドフレーム、フットフレーム 19.0kg (4/5)：背ボトム、ひざボトム・脚ボトム 18.5kg ショート(4/5)：背ボトム、ひざボトム・脚ボトム 18.5kg (5/5)：ヘッドボード、フットボード 13.5kg (PZB-M3RJ) (5/5)：宮ヘッドボード、フットボード 19.0kg (PZB-M3RJ/M) ショート(5/5)：ヘッドボード、フットボード 13.0kg (PZB-M3SJ) (5/5)：ヘッドボード、ヘッドボード 16.5kg (PZB-M3RJ-HH) (5/5)：宮ヘッドボード、ヘッドボード 22.5kg (PZB-M3RJ/M-MH) ショート(5/5)：ヘッドボード、ヘッドボード 15.0kg (PZB-M3SJ-HH)	商品質量合計 PZB-M3RJ:91.5kg PZB-M3RJ/M:97.0kg PZB-M3SJ:91.0kg PZB-M3RJ-HH:94.5kg PZB-M3RJ/M-MH:100.5kg PZB-M3SJ-HH:93.0kg
梱包サイズ 梱包質量	(1/5)：1510×890×250 24.5kg (2/5)：1300×920×270 30.0kg (3/5)：1065×970×260 22.5kg ショート(3/5)：1065×900×260 22.5kg (4/5)：940×930×120 22.5kg ショート(4/5)：905×930×120 22.5kg (5/5)：1035×625×190 17.0kg (PZB-M3RJ) (5/5)：1045×635×315 23.5kg (PZB-M3RJ/M) ショート(5/5)：960×615×180 16.0kg (PZB-M3SJ) (5/5)：1035×625×190 19.0kg (PZB-M3RJ-HH) (5/5)：1045×635×315 26.5kg (PZB-M3RJ/M-MH) ショート(5/5)：960×615×180 18.0kg (PZB-M3SJ-HH)	
材 質	本体ユニット：スチール、ABS樹脂 木部：プリント紙化粧板、天然木、PU塗装	
電動動作	無段階自在式 背上げ（背ひざ同時連動/背単独）、背上げ角度（0°～約70°）、 ひざ上げ角度（0°～約17°）、昇降（床～ボトム面高さ：25cm～59cm）	
ボトム形状	通気性に優れたスチールメッシュ方式 ボトム形状は4ブロックに分けてあります	
定格電圧	AC100V、50/60Hz	
定格消費電力	120W	
最大使用者体重	120kg/最大使用荷重：1700N	
原産国	本体：ベトナム	

適合周辺機器

指定商品	サイドレール	BG-75J・BG-96J・BG-53J
	ベッド用グリップ	PZR-116J・PZR-AT116J
	マットレス	推薦マットレス：PFM-8980PN、PFM-LD90Ⅱ、PKM-9080、PKM-E80 推薦マットレス（ショートタイプ）：PKM-9080S もしくは下記サイズ、重量を満たす物 サイズ：幅88～91cm×長さ190～195cm（ショートタイプ：180～183cm） 厚 さ：最大厚（サイドレールのみ時：18cm以下/ベッド用グリップ装着時：18cm以下）、 最小厚7cm以上 質 量：34kg以下
	オーバーテーブル	PGT-400LM
	サイドテーブル	PZT-760 PZT-900LK PZT-840 ※M3(R・S)Jシリーズ、M2(R・S)Jシリーズ、M1(R・S)JHシリーズに上記テーブル を使用される場合は、ハイトスパーサー：M2RJ-H35・M2RJ-H35-Aを使用するか、 キャスターM2RJ-8CKSを装着して下さい。
	床キズ防止 カーペット	PSC-1216SC 床がフローリングなどで滑りやすい材質の場合は、必ず使用して下さい。 ベッドが滑り、怪我の原因となります。
	キャスター	M2RJ-8CKS (M3(R・S)Jシリーズ、M2(R・S)Jシリーズ、M1(R・S)JHシリーズ) M1RJB-8CKS (M1(R・S)JBシリーズ)
	高さ調整用 スパーサー	ハイトスパーサー：M2RJ-H35・M2RJ-H35-A (M3(R・S)Jシリーズ、M2(R・S)Jシリーズ、M1(R・S)JHシリーズ) 延長脚：(3.5cm<PDP-35G>、7cm<PDP-70G>、14cm<PDP-140G>) (M1(R・S)JBシリーズ)

パーツ型式一覧表

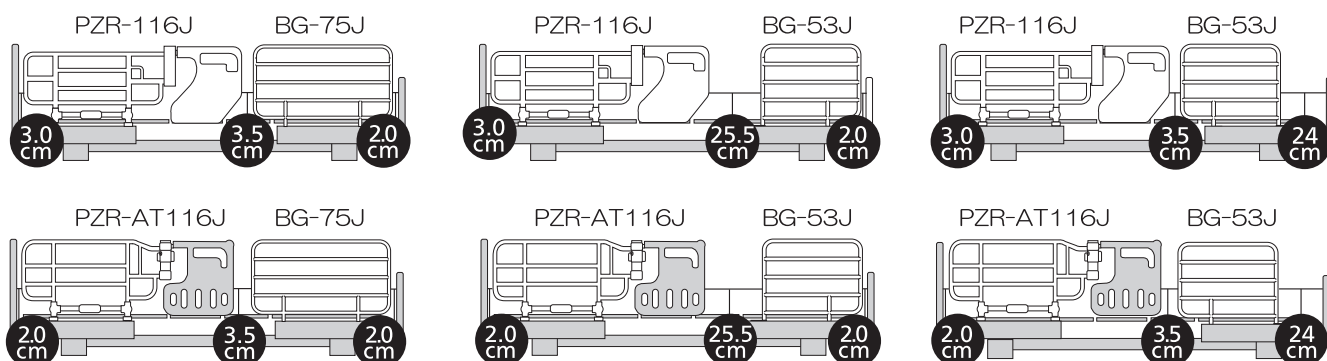
機能別	昇降 1 M	昇降 1 M(宮)	昇降 1 M(H/H)	昇降 1 M(宮/H)	背上げ 1 M	背上げ 1 M(宮)	背上げ 1 M(H/H)	背上げ 1 M(宮/H)
上段：セット型式	PZB-M1RJH	PZB-M1RJH/M	PZB-M1RJH-HH	PZB-M1RJH/M-MH	PZB-M1RJB	PZB-M1RJB/M	PZB-M1RJB-HH	PZB-M1RJB/M-MH
ベースフレーム (カートン)	PZB-MA1(1/5)	PZB-MA1(1/5)	PZB-MA1(1/5)	PZB-MA1(1/5)	PZB-MA2(1/5)	PZB-MA2(1/5)	PZB-MA2(1/5)	PZB-MA2(1/5)
ベースフレーム	PZB-MA1	PZB-MA1	PZB-MA1	PZB-MA1	PZB-MA2	PZB-MA2	PZB-MA2	PZB-MA2
センターフレーム (カートン)	PZB-MB1 (2/5)	PZB-MB1 (2/5)	PZB-MB1 (2/5)	PZB-MB1 (2/5)	PZB-MB2 (2/5)	PZB-MB2 (2/5)	PZB-MB2 (2/5)	PZB-MB2 (2/5)
センターフレーム	PZB-MB1	PZB-MB1	PZB-MB1	PZB-MB1	PZB-MB2	PZB-MB2	PZB-MB2	PZB-MB2
ヘッド・フットフレーム (カートン)	PZB-MC1D1 (3/5)	PZB-MC1D1 (3/5)	PZB-MC1D1 (3/5)	PZB-MC1D1 (3/5)	PZB-MC2D1 (3/5)	PZB-MC2D1 (3/5)	PZB-MC2D1 (3/5)	PZB-MC2D1 (3/5)
ヘッドフレーム	PZB-MC1	PZB-MC1	PZB-MC1	PZB-MC1	PZB-MC2	PZB-MC2	PZB-MC2	PZB-MC2
フットフレーム	PZB-MD1	PZB-MD1	PZB-MD1	PZB-MD1	PZB-MD1	PZB-MD1	PZB-MD1	PZB-MD1
背、ひざ・脚ボトム (カートン)	PZB-ME1F1 (4/5)	PZB-ME1F1 (4/5)	PZB-ME1F1 (4/5)	PZB-ME1F1 (4/5)	PZB-ME1F1 (4/5)	PZB-ME1F1 (4/5)	PZB-ME1F1 (4/5)	PZB-ME1F1 (4/5)
背ボトム	PZB-ME1	PZB-ME1	PZB-ME1	PZB-ME1	PZB-ME1	PZB-ME1	PZB-ME1	PZB-ME1
ひざ・脚ボトム	PZB-MF1	PZB-MF1	PZB-MF1	PZB-MF1	PZB-MF1	PZB-MF1	PZB-MF1	PZB-MF1
ヘッド・フットボード (カートン)	PZB-MG1H1 (5/5)	PZB-MG2H1 (5/5)	PZB-MG1G1 (5/5)	PZB-MG2G1 (5/5)	PZB-MG1H1 (5/5)	PZB-MG2H1 (5/5)	PZB-MG1G1 (5/5)	PZB-MG2G1 (5/5)
ヘッドボード	PZB-MG1	PZB-MG2	PZB-MG1	PZB-MG2	PZB-MG1	PZB-MG2	PZB-MG1	PZB-MG2
フット (ヘッド) ボード	PZB-MH1	PZB-MH1	PZB-MG1	PZB-MG1	PZB-MH1	PZB-MH1	PZB-MG1	PZB-MG1

機能別	2M	2M(宮)	2M(H/H)	2M(宮/H)	3M	3M(宮)	3M(H/H)	3M(宮/H)
上段：セット型式	PZB-M2RJ	PZB-M2RJ/M	PZB-M2RJ-HH	PZB-M2RJ/M-MH	PZB-M3RJ	PZB-M3RJ/M	PZB-M3RJ-HH	PZB-M3RJ/M-MH
ベースフレーム (カートン)	PZB-MA1(1/5)	PZB-MA1(1/5)	PZB-MA1(1/5)	PZB-MA1(1/5)	PZB-MA1(1/5)	PZB-MA1(1/5)	PZB-MA1(1/5)	PZB-MA1(1/5)
ベースフレーム	PZB-MA1	PZB-MA1	PZB-MA1	PZB-MA1	PZB-MA1	PZB-MA1	PZB-MA1	PZB-MA1
センターフレーム (カートン)	PZB-MB3 (2/5)	PZB-MB3 (2/5)	PZB-MB3 (2/5)	PZB-MB3 (2/5)	PZB-MB4 (2/5)	PZB-MB4 (2/5)	PZB-MB4 (2/5)	PZB-MB4 (2/5)
センターフレーム	PZB-MB3	PZB-MB3	PZB-MB3	PZB-MB3	PZB-MB4	PZB-MB4	PZB-MB4	PZB-MB4
ヘッド・フットフレーム (カートン)	PZB-MC2D1 (3/5)	PZB-MC2D1 (3/5)	PZB-MC2D1 (3/5)	PZB-MC2D1 (3/5)	PZB-MC2D1 (3/5)	PZB-MC2D1 (3/5)	PZB-MC2D1 (3/5)	PZB-MC2D1 (3/5)
ヘッドフレーム	PZB-MC2	PZB-MC2	PZB-MC2	PZB-MC2	PZB-MC2	PZB-MC2	PZB-MC2	PZB-MC2
フットフレーム	PZB-MD1	PZB-MD1	PZB-MD1	PZB-MD1	PZB-MD1	PZB-MD1	PZB-MD1	PZB-MD1
背、ひざ・脚ボトム (カートン)	PZB-ME1F1 (4/5)	PZB-ME1F1 (4/5)	PZB-ME1F1 (4/5)	PZB-ME1F1 (4/5)	PZB-ME1F1 (4/5)	PZB-ME1F1 (4/5)	PZB-ME1F1 (4/5)	PZB-ME1F1 (4/5)
背ボトム	PZB-ME1	PZB-ME1	PZB-ME1	PZB-ME1	PZB-ME1	PZB-ME1	PZB-ME1	PZB-ME1
ひざ・脚ボトム	PZB-MF1	PZB-MF1	PZB-MF1	PZB-MF1	PZB-MF1	PZB-MF1	PZB-MF1	PZB-MF1
ヘッド・フットボード (カートン)	PZB-MG1H1 (5/5)	PZB-MG2H1 (5/5)	PZB-MG1G1 (5/5)	PZB-MG2G1 (5/5)	PZB-MG1H1 (5/5)	PZB-MG2H1 (5/5)	PZB-MG1G1 (5/5)	PZB-MG2G1 (5/5)
ヘッドボード	PZB-MG1	PZB-MG2	PZB-MG1	PZB-MG2	PZB-MG1	PZB-MG2	PZB-MG1	PZB-MG2
フット (ヘッド) ボード	PZB-MH1	PZB-MH1	PZB-MG1	PZB-MG1	PZB-MH1	PZB-MH1	PZB-MG1	PZB-MG1

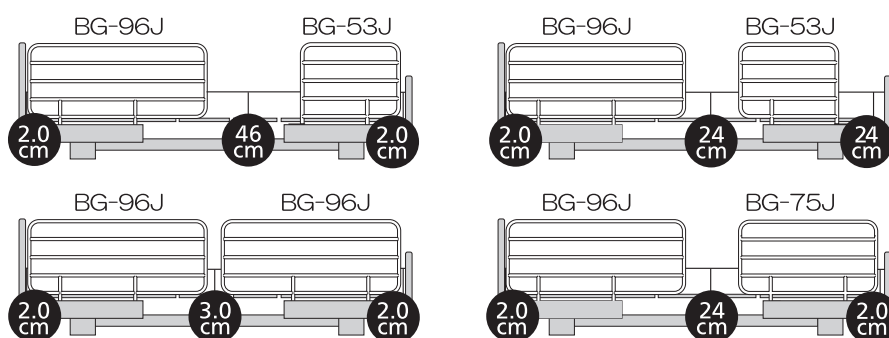
ショートタイプ								
機能別	昇降 1 M (ショート)	昇降 1 M (H/H) (ショート)	背上げ 1 M (ショート)	背上げ 1 (H/H) (ショート)	2M (ショート)	2M (H/H) (ショート)	3M (ショート)	3M (H/H) (ショート)
上段：セット型式	PZB-M1SJH	PZB-M1SJH-HH	PZB-M1SJB	PZB-M1SB-HH	PZB-M2SJ	PZB-M2SJ-HH	PZB-M3SJ	PZB-M3SJ-HH
ベースフレーム (カートン)	PZB-MA1(1/5)	PZB-MA1(1/5)	PZB-MA2(1/5)	PZB-MA2(1/5)	PZB-MA1(1/5)	PZB-MA1(1/5)	PZB-MA1(1/5)	PZB-MA1(1/5)
ベースフレーム	PZB-MA1	PZB-MA1	PZB-MA2	PZB-MA2	PZB-MA1	PZB-MA1	PZB-MA1	PZB-MA1
センターフレーム (カートン)	PZB-MB1 (2/5)	PZB-MB1 (2/5)	PZB-MB2 (2/5)	PZB-MB2 (2/5)	PZB-MB3 (2/5)	PZB-MB3 (2/5)	PZB-MB4 (2/5)	PZB-MB4 (2/5)
センターフレーム	PZB-MB1	PZB-MB1	PZB-MB2	PZB-MB2	PZB-MB3	PZB-MB3	PZB-MB4	PZB-MB4
ヘッド・フットフレーム (カートン)	PZB-MC3D2(3/5)	PZB-MC3D2(3/5)	PZB-MC4D2(3/5)	PZB-MC4D2(3/5)	PZB-MC4D2(3/5)	PZB-MC4D2(3/5)	PZB-MC4D2(3/5)	PZB-MC4D2(3/5)
ヘッドフレーム	PZB-MC3	PZB-MC3	PZB-MC4	PZB-MC4	PZB-MC4	PZB-MC4	PZB-MC4	PZB-MC4
フットフレーム	PZB-MD2	PZB-MD2	PZB-MD2	PZB-MD2	PZB-MD2	PZB-MD2	PZB-MD2	PZB-MD2
背、ひざ・脚ボトム (カートン)	PZB-ME2F2 (4/5)	PZB-ME2F2 (4/5)	PZB-ME2F2 (4/5)	PZB-ME2F2 (4/5)	PZB-ME2F2 (4/5)	PZB-ME2F2 (4/5)	PZB-ME2F2 (4/5)	PZB-ME2F2 (4/5)
背ボトム	PZB-ME2	PZB-ME2	PZB-ME2	PZB-ME2	PZB-ME2	PZB-ME2	PZB-ME2	PZB-ME2
ひざ・脚ボトム	PZB-MF2	PZB-MF2	PZB-MF2	PZB-MF2	PZB-MF2	PZB-MF2	PZB-MF2	PZB-MF2
ヘッド・フットボード (カートン)	PZB-MG3H2 (5/5)	PZB-MG3G3 (5/5)	PZB-MG3H2 (5/5)	PZB-MG3G3 (5/5)	PZB-MG3H2 (5/5)	PZB-MG3G3 (5/5)	PZB-MG3H2 (5/5)	PZB-MG3G3 (5/5)
ヘッドボード	PZB-MG3	PZB-MG3	PZB-MG3	PZB-MG3	PZB-MG3	PZB-MG3	PZB-MG3	PZB-MG3
フット (ヘッド) ボード	PZB-MH2	PZB-MG3	PZB-MH2	PZB-MG3	PZB-MH2	PZB-MG3	PZB-MH2	PZB-MG3

レール類の組み合わせ(PZB-M1RJB,PZB-M1RJH,PZB-M2RJ,PZB-M3RJ各シリーズ)

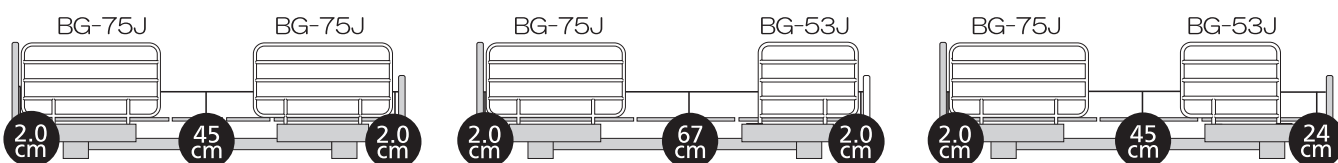
●ミオレットとベッド用グリッパ、サイドレールの組み合わせ時の隙間



●ロングサイドレールBG-96Jと他のサイドレールを組み合わせてご利用される際の隙間

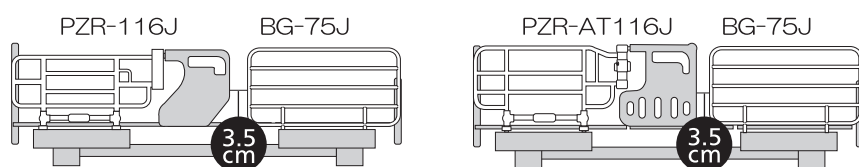


●標準サイドレールBG-75Jと他のサイドレールを組み合わせてご利用される際の隙間



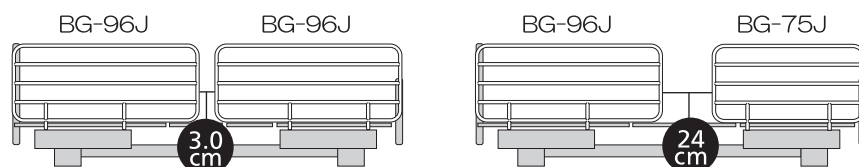
レール類の組み合わせ(PZB-M1SJB,PZB-M1SJH,PZB-M2SJ,PZB-M3SJ)

●ミオレットとベッド用グリッパ、サイドレールの組み合わせ時の隙間



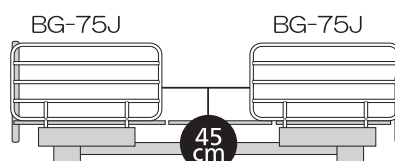
※BG-53Jはショートタイプ
(PZB-M1SJB,PZB-M1SJH,
PZB-M2SJ,PZB-M3SJ) には
使用できません

●ロングサイドレールBG-96Jと他のサイドレールを組み合わせてご利用される際の隙間



※BG-53Jはショートタイプ
(PZB-M1SJB,PZB-M1SJH,
PZB-M2SJ,PZB-M3SJ) には
使用できません

●標準サイドレールBG-75Jと他のサイドレールを組み合わせてご利用される際の隙間



※BG-53Jはショートタイプ
(PZB-M1SJB,PZB-M1SJH,
PZB-M2SJ,PZB-M3SJ) には
使用できません

停電時の背下げ操作方法

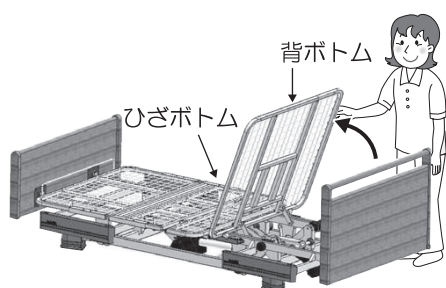
背ボトムの角度によっては、モーター先端のピンを取るだけでは背ボトムが下がらない場合があります。（特に35度以上）その際は、下記の手順で作業を行ってください。

※作業時は、必ずご利用様はベッドから降りていただき、作業をおこなってください。

※プラグはコンセントから抜いて下さい。

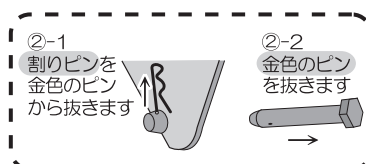
※危険防止のため、作業は2人で行ってください。

- ①ご利用様と寝具をベッドから降ろし、作業は背ボトムを手で支えて行って下さい。



- ②背ひざ連結バー先端のRピン及びピンを外して下さい。

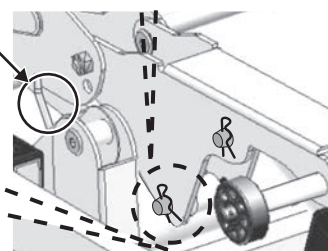
※ひざボトムを持ち上げることでスムーズにピンを外せます



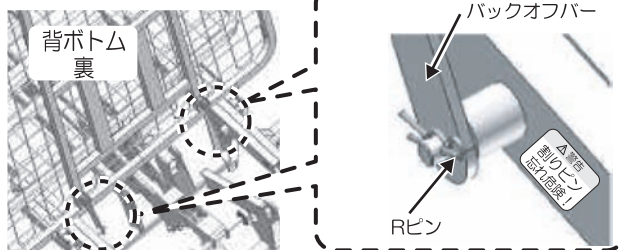
連結バー受け

背ひざ連結バーは連結バー受けに下ろして下さい。

背ひざ連結バー

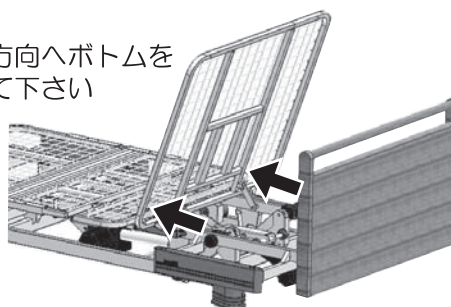


- ③背ボトムを片手で押さえ、下図のRピンを抜きバックオフバーを外して下さい。（左右各1箇所）

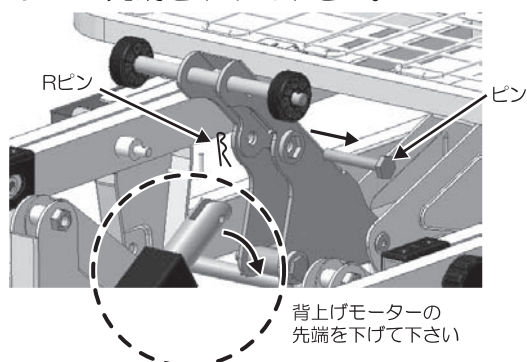


- ④背ボトムを腰ボトム側へ止まるまで移動させて下さい。

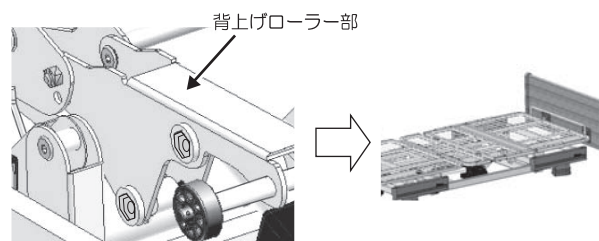
※矢印の方向へボトムを移動して下さい



- ⑤背上げモーター先端のRピンとピンを外してモーターの先端を下げて下さい。



- ⑥下図のように背上げローラー部が降りることを確認して、③で外したバックオフバーとRピンを再び取り付け、背ボトムを水平にしてご使用下さい。



電力が回復しましたら、逆の手順で元に戻してご使用下さい。

外したRピンとピンは背ボトムを元に戻す際に使用しますので、保管しておいて下さい。

